

## 航空管制官アンケート (最終集計結果)

- ・アンケートについては、9月6日に各管制部に配付。
- ・9月9日集約分までを一次集約として集計を実施。
- ・9月20日を最終締め切りとし、最終集計を実施。

第一次集計分回収部数 : 571部  
" 回収率 : 88.5%

最終集計分回収部数 : 623部  
" 回収率 : 96.6%

※ 回収率は、職員数との割合

## <アンケートに関する考察>

### 1. 回収率について

- ・今回は、航空交通管制部に所属する管制官を対象にしてアンケートを実施したが、その結果として回収率は約97%となっており、かなりの高率で回答が得られている。

### 2. アンケート回答者の属性について

#### (1) 性別

- ・全体の約30%が女性の回答であり、全国的な女性の割合（約24%）と比較すると、やや高い数値となっているが、管制部の女性の割合が全国平均よりは若干高いことが原因である。

#### (2) 年代

- ・管制部全体としては、ほぼ各年代が4分の1となっており、若干40歳代が割合として少なくなっている。管制部別に見ると、札幌管制部及び那覇管制部で50歳代以上が40%を超えている（東京管制部、福岡管制部は、それぞれ22%、27.5%）。

#### (3) 役職

- ・管制部全体では、主幹管制官の割合は約24%であるが、札幌管制部、那覇管制部では30%を超えており福岡管制部でも30%近いが、東京管制部では約16%と低い値になっている。これは、(2)の年代配分とほぼ連動している値となっている。

#### (4) 勤務経験

- ・勤務経験（連続）については、4管制部ともほぼ同一の傾向を示している。勤務経験（通算）についても、4管制部ともほぼ同一ではあるが、札幌管制部と東京管制部で10年以上の比率が若干高くなっている。

### 3. アンケートの各設問について（特徴的と考えられるものを抽出して記述）

#### （1）規定類の通知及び実践について（Q1、Q9）

- ・ 管制業務に関する規定類等については、70%以上が「通知され、実践されている」と回答。一方、管制業務以外の通達類や部内ルールについては、「通知され、実践されている」と回答した割合は50%以下で、「一部実践されていない」あるいは「通知されていないことがある」との回答が約40%となっており、管制業務以外のものに関する管制官の認識に課題がある。

#### （2）管制官以外の職種との連携について（Q2、Q3、Q29）

- ・ 管制業務における管制官以外の職種との連携については、「連携不足が見られることがある」「連携が不十分である」と回答しているものが約16%であるが、組織内において責任と権限が明確になっているかという問いに対しては、約30%が「あまり明確になっていない」「全く明確になっていない」と回答している。
- ・ また、管制部組織としての一体感についても、約34%が「あまりない」「ない」と回答しており、業務上の連携は概ねとられているが、組織としてのあり方、組織の一員として認識に課題、問題点があると言える。

#### （3）管制官の仕事への誇り、やりがい等について（Q4、Q3、Q29）

- ・ 管制官の仕事に誇りをもっているかについては、約90%の者が「持っている」「やや持っている」と回答している。
- ・ 一方、管制官の業務に対する社会的な評価について、「一部評価されていないものがある」「正当に評価されていない」と回答した者が65%を超えており、その理由としては、待遇面で評価されていないと感じている意見が多い。また、不具合事案ばかりがクローズアップされているという意見もある。
- ・ 現在の業務にやりがいを感じているかについては、80%以上が「大いに感じる」「時々感じる」と回答しており、仕事に対する誇りややりがいはあるが、社会的な評価はあまりされていないと感じている管制官が多いことがわかる。

#### （4）安全意識や緊張感について（Q5、Q6、Q8）

- ・ 管制業務上、自分の安全意識や緊張感が希薄になっていると感じるかについては、全体として24.5%の管制官が「しばしばある」あるいは「時々ある」と感じている。理由としては、トラフィックが少なくなる時間帯あるいは特に繁忙な業務を終えた後、交通量が一時的に少なくなった時に感じるという意見が多い。
- ・ 一方、他職員の安全意識や緊張感が希薄になっていると感じるかについては、約35%が「しばしばある」あるいは「時々ある」と感じている。理由については、業務の慣れからという意見、また、現官署の勤続年数が長すぎるからという意見もある。

- ・以上から、他者から見ると安全意識や緊張感が希薄になっていると感じられるが、自分自身では希薄になっているとは感じていない（気付いていない）状況があることがわかる。
- ・また、管制業務以外の事務についても、安全意識や緊張感を保持すべき対象であると認識しているかについては、8割が「認識している」「概ね認識している」と回答しているが、約14%の者は「あまり認識していない」「認識していない」と答えており、管制業務以外の事務等についても安全を確保するという目的を果たすためには重要な役割を担っていることを理解していない管制官が少なからずいることを示す結果となっている。

(5) 管制運用室への見学者の立ち入り等について（Q7、Q10～Q14）

- ・見学受入要領等、職場における規定類は実態に即していると思うかという問については、15%程度の者が「あまり即していない」「全く即していない」と回答しており、その理由としては、規制等が厳しすぎる、もっとオープンにすべきという意見と、曖昧、もっと的確に管理すべきという両面の意見が見られる。また、他官署の管制官は別扱いにして欲しいという意見も少なからずあった。
- ・管制運用室へ見学者が立ち入ることについては、管制部全体で50%以上のものが、「安全上問題がある」「安全上問題がある場合もある」と回答している。
- ・見学者が鞆や携帯を管制運用室に持ち込むことについては、全体で65%以上のものが、「安全上問題がある」「安全上問題がある場合もある」と回答している。
- ・身元確認が厳格に行われない場合があることについては、全体で90%近くのもの、「安全上問題がある」「安全上問題がある場合もある」と回答している。
- ・一方、見学者に交信をモニターさせることについては、50%以上のものが「安全上あまり問題ない」「安全上問題ない」と回答しているが、立ち入りに対する回答を考慮すると、ここでの回答は「交信をモニターさせること」について単独に考えた結果と思われる。
- ・これらのことから、管制運用室への見学者の立ち入りについては、業務上の必要性によるものか、単なる見学かを明確にした上で、単なる見学については運用室へは立ち入らせない等の方策について明確にする必要がある。

(6) 見学の必要性、親類・知人の見学に必要性について（Q15、Q16）

- ・見学の必要性自体については、約85%が「一定の必要性がある」「必要性が極めて高い」と回答している
- ・また、親類・知人を管制運用室に立ち入らせることについては、6割近くの者が「必要性が極めて高い」「一定の必要性がある」と回答しているが、35%以上の者は「あまり必要性はない」「必要ない」と回答しており、一般的な見学の必要性については、かなりの者が必要性があると考えているが、親類・知人については、意見がわかれているところである。

- ・親類・知人については、見学ルームから見学させ運用室には立ち入らせない等の規則を明確にする必要がある。

(7) 管制運用室はテロの対象となり得るかについて (Q11、Q17、Q18)

- ・管制運用室はテロの対象となり得るかという問に対しては約90%の者が「標的になり得る施設だと思う」「言われてみればその可能性があるかと思う」と回答している。
- ・また、見学者が鞆や携帯を管制運用室に持ち込むことについては、全体で65%以上のものが、「安全上問題がある」「安全上問題がある場合もある」と回答している一方、職員自身の管制運用室への持ち込みについては80%以上の者が「安全上あまり問題ない」「安全上問題ない」と回答しており、外部の者に対する認識と内部の者に対する認識が大きく違っている。
- ・職員については安心ということではなく、テロに対する知識の充実等に係る教育が必要であると考える。

(8) 世間一般との意識のズレ、仕事の私生活の区分等について (Q21、Q22)

- ・管制官は、世間一般の意識とズレがあると思うかについて、50%以上が「その通りだと思う」「一部、そのように思われる部分もあると思う」と回答して下り、その理由として、社会人としての振る舞いや行動規範に欠けている、服装の面という意見があった。
- ・仕事と私生活の区分について、曖昧と感じる部分があるかということについては、20%弱の管制官が「感じる」「一部、感じる」と回答しており、具体的にどのような点でそう感じるかについては、輪番勤務のため、私服等で勤務するものもいるため、個人で業務上の判断をすることが多いため、役職に関係なく同じ内容の業務を行っているためという4つの理由について、ほぼ同じ率で回答している。
- ・実際に仕事と私生活の区別が曖昧と考えている管制官の数以上に、他者の行動等をみた場合には、世間一般の意識とのズレがあると考えている管制官が多いことを示している。

(9) 服務規律等について (Q24～Q27)

- ・組織としての規律が緩んでいると感じることはあるかということについては、40%以上が「大いに感じる」「時々感じる」と回答しており、また、管理職が模範となっているかという問には、約35%の者が「あまり感じない」「全く感じない」と回答していることから、管理職の対応も含めた組織的な面での規律に課題、問題があると認識している管制官が相当いることを示している。
- ・コンプライアンスについて理解し実践できているかについては、約16%の者が「あまり理解していないし実践できていない」「全く理解できていないし実践

できていない」と回答している。また、自分の部署のコンプライアンスや公務員倫理についての取り組みでは、約20%が「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」と回答しており、「十分取り組んでいる」「概ね取り組んでいる」が約60%にとどまっていることも含め、コンプライアンスに対する取り組みが十分ではないことを示している。

(10) 職場の風通し等について (Q28、Q30)

- ・ 自己の良識に沿って行動しようとするによりジレンマに陥ることがあるかという問に対して、約40%が「ある」「ある程度はある」と回答しており、また、自分の職場は風通しの良い職場かという問には、25%近くの者が「あまり思わない」「全く思わない」と回答している。
- ・ これらの結果は、決して言いたいことが素直に言える職場ではないと考えている管制官が相当数いることを示している。その理由について明らかにした上で対応策を検討していく必要がある。

1. 回収率(最終集約)

官署名	回収部数	回収率	職員数
札幌管制部	85	98.8%	86
東京管制部	304	95.3%	319
福岡管制部	167	98.8%	169
那覇管制部	67	94.4%	71
全体	623	96.6%	645

2. アンケート回答者の属性

(1) 性別

性別	全体		札幌管制部		東京管制部		福岡管制部		那覇管制部	
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
女性	184	29.5%	18	21.2%	94	30.9%	55	32.9%	17	25.4%
男性	430	69.0%	67	78.8%	204	67.1%	109	65.3%	50	74.6%
未回答	9	1.4%	0	0.0%	6	2.0%	3	1.8%	0	0.0%

(2) 年代

年代	全体		札幌管制部		東京管制部		福岡管制部		那覇管制部	
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
20歳代	140	22.5%	9	10.6%	84	27.6%	37	22.2%	10	14.9%
30歳代	179	28.7%	21	24.7%	97	31.9%	48	28.7%	13	19.4%
40歳代	118	18.9%	17	20.0%	51	16.8%	34	20.4%	16	23.9%
50歳代以上	179	28.7%	38	44.7%	67	22.0%	46	27.5%	28	41.8%
未回答	7	1.1%	0	0.0%	5	1.6%	2	1.2%	0	0.0%

(3) 役職

役職	全体		札幌管制部		東京管制部		福岡管制部		那覇管制部	
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
前任・次席管制官	50	8.0%	9	10.6%	23	7.6%	9	5.4%	9	13.4%
主幹管制官	149	23.9%	32	37.6%	48	15.8%	46	27.5%	23	34.3%
主任管制官・管制官	407	65.3%	40	47.1%	223	73.4%	109	65.3%	35	52.2%
未回答	17	2.7%	4	4.7%	10	3.3%	3	1.8%	0	0.0%

(4) - 1 勤務経験(連続)

年数	全体		札幌管制部		東京管制部		福岡管制部		那覇管制部	
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
10年以上	154	24.7%	21	24.7%	76	25.0%	38	22.8%	19	28.4%
5年以上10年未満	128	20.5%	16	18.8%	56	18.4%	44	26.3%	12	17.9%
5年未満	300	48.2%	43	50.6%	153	50.3%	72	43.1%	32	47.8%
未回答	41	6.6%	5	5.9%	19	6.3%	13	7.8%	4	6.0%

(4) - 2 勤務経験(通算)

年数	全体		札幌管制部		東京管制部		福岡管制部		那覇管制部	
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
10年以上	174	27.9%	24	28.2%	97	31.9%	37	22.2%	16	23.9%
5年以上10年未満	81	13.0%	9	10.6%	35	11.5%	26	15.6%	11	16.4%
	186	29.9%	25	29.4%	92	30.3%	47	28.1%	22	32.8%
未回答	182	29.2%	27	31.8%	80	26.3%	57	34.1%	18	26.9%

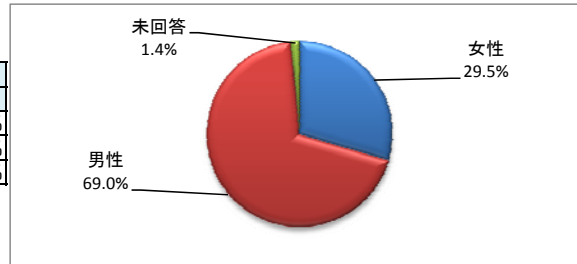
1. 回収率(最終集約)

官署名	回収部数	回収率	職員数
札幌管制部	85	98.8%	86
東京管制部	304	95.3%	319
福岡管制部	167	98.8%	169
那覇管制部	67	94.4%	71
全体	623	96.6%	645

2. アンケート回答者の属性

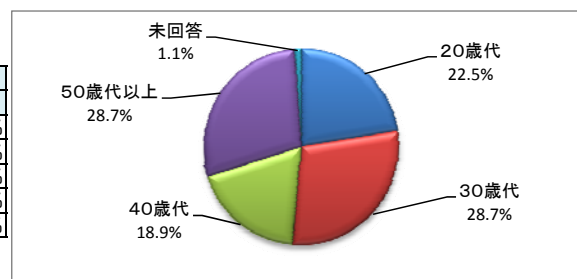
(1)性別

性別	全体	
	人数	率(%)
女性	184	29.5%
男性	430	69.0%
未回答	9	1.4%



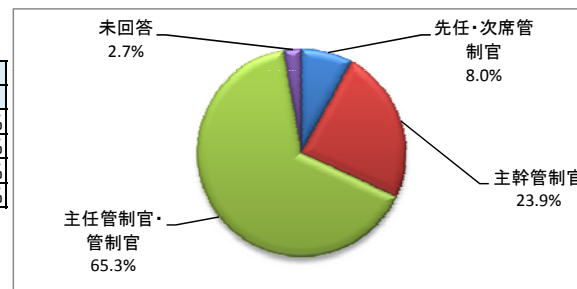
(2)年代

年代	全体	
	人数	率(%)
20歳代	140	22.5%
30歳代	179	28.7%
40歳代	118	18.9%
50歳代以上	179	28.7%
未回答	7	1.1%



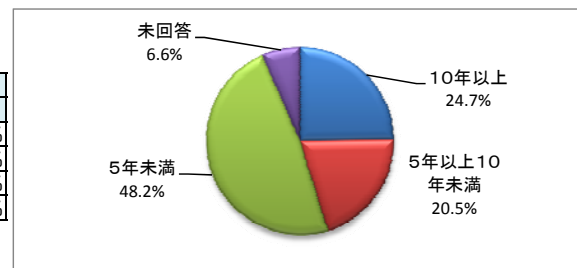
(3)役職

役職	全体	
	人数	率(%)
前任・次席管制官	50	8.0%
主幹管制官	149	23.9%
主任管制官・管制官	407	65.3%
未回答	17	2.7%



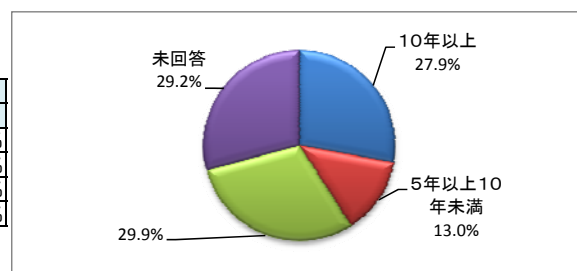
(4) - 1 勤務経験(連続)

年数	全体	
	人数	率(%)
10年以上	154	24.7%
5年以上10年未満	128	20.5%
5年未満	300	48.2%
未回答	41	6.6%



(4) - 2 勤務経験(通算)

年数	全体	
	人数	率(%)
10年以上	174	27.9%
5年以上10年未満	81	13.0%
未回答	186	29.9%
未回答	182	29.2%

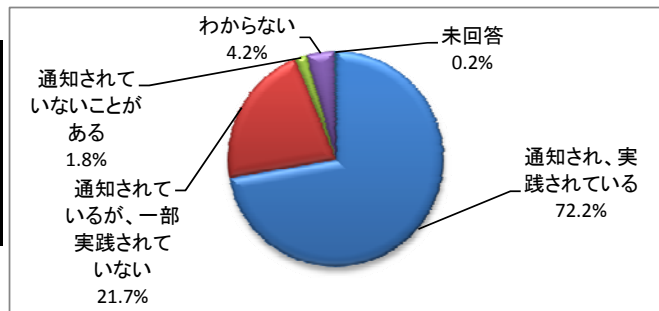




## I 管制業務について

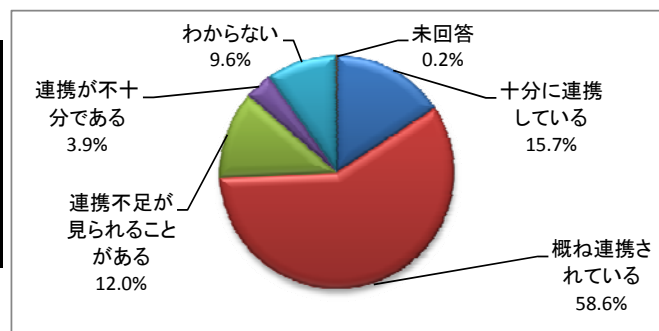
Q1. 管制業務に関する規程類等の改正について、各職員まで通知され実践されていますか

Q1	全体	
	人数	率(%)
通知され、実践されている	450	72.2%
通知されているが、一部実践されていない	135	21.7%
通知されていないことがある	11	1.8%
わからない	26	4.2%
未回答	1	0.2%



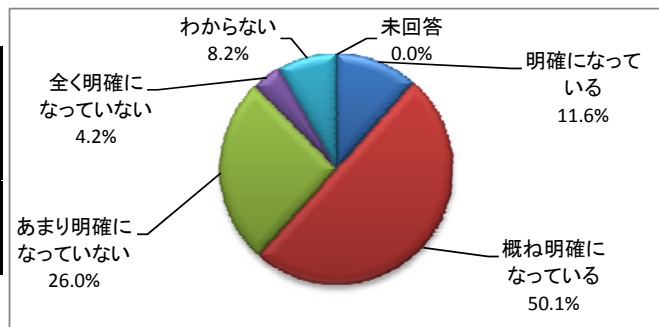
Q2. 管制業務における管制官以外の職種(管制技術官等)との連携は十分に行われていますか

Q2	全体	
	人数	率(%)
十分に連携している	98	15.7%
概ね連携されている	365	58.6%
連携不足が見られることがある	75	12.0%
連携が不十分である	24	3.9%
わからない	60	9.6%
未回答	1	0.2%



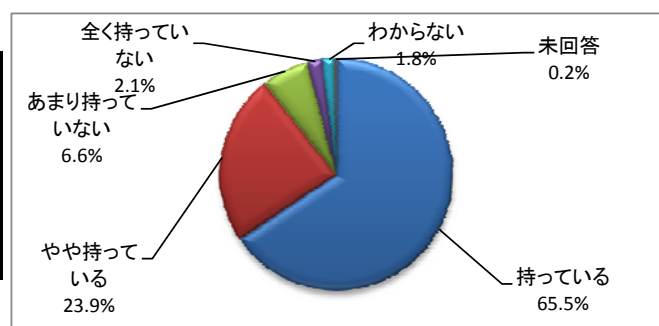
Q3. 組織内において責任と権限が明確になっていると思いますか

Q3	全体	
	人数	率(%)
明確になっている	72	11.6%
概ね明確になっている	312	50.1%
あまり明確になっていない	162	26.0%
全く明確になっていない	26	4.2%
わからない	51	8.2%
未回答	0	0.0%



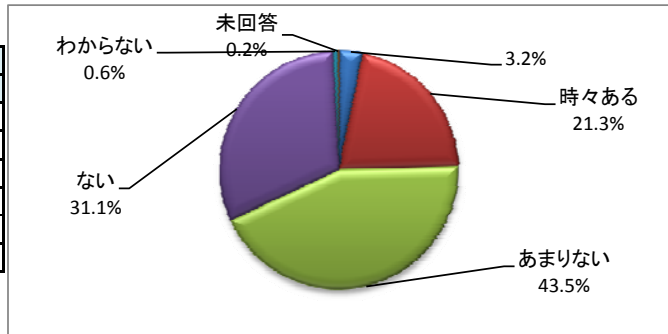
Q4. あなたは管制官の仕事に誇りを持っていますか

Q4	全体	
	人数	率(%)
持っている	408	65.5%
やや持っている	149	23.9%
あまり持っていない	41	6.6%
全く持っていない	13	2.1%
わからない	11	1.8%
未回答	1	0.2%



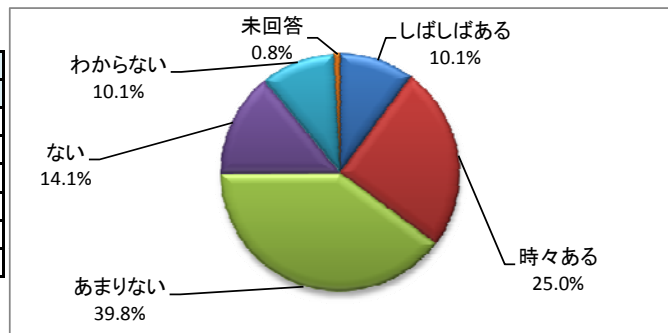
Q5. 管制業務上、自分の安全意識や緊張感が希薄になっていると感じることはありますか

Q5	全体	
	人数	率(%)
	20	3.2%
時々ある	133	21.3%
あまりない	271	43.5%
ない	194	31.1%
わからない	4	0.6%
未回答	1	0.2%



Q6. 管制業務上、他職員の安全意識や緊張感が希薄になっていると感じることはありますか

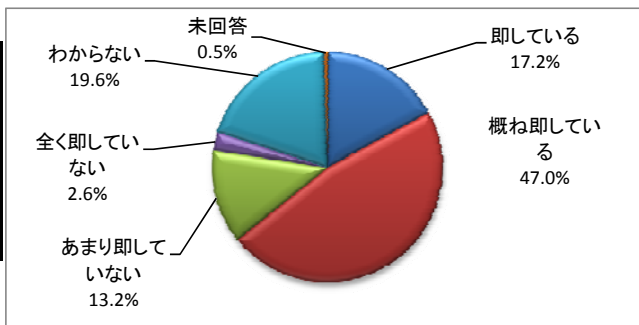
Q6	全体	
	人数	率(%)
しばしばある	63	10.1%
時々ある	156	25.0%
あまりない	248	39.8%
ない	88	14.1%
わからない	63	10.1%
未回答	5	0.8%



II 管制業務以外の事務(見学受入や各種手続き等の管理的業務)について

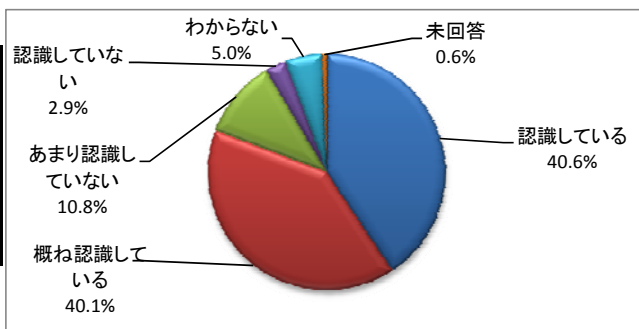
Q7. 見学受入要領等、職場における規程類は実態に即していると思いますか

Q7	全体	
	人数	率(%)
即している	107	17.2%
概ね即している	293	47.0%
あまり即していない	82	13.2%
全く即していない	16	2.6%
わからない	122	19.6%
未回答	3	0.5%



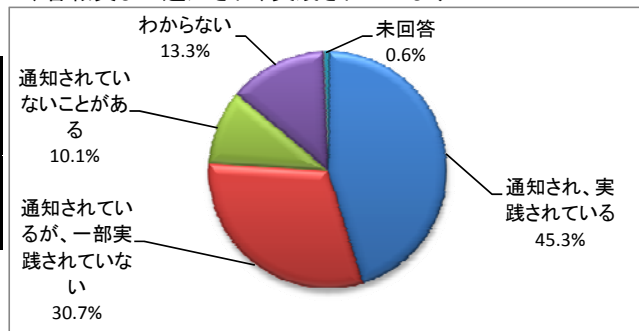
Q8. 管制業務以外の事務についても、安全意識や緊張感を保持すべき対象であると認識していますか

Q8	全体	
	人数	率(%)
認識している	253	40.6%
概ね認識している	250	40.1%
あまり認識していない	67	10.8%
認識していない	18	2.9%
わからない	31	5.0%
未回答	4	0.6%



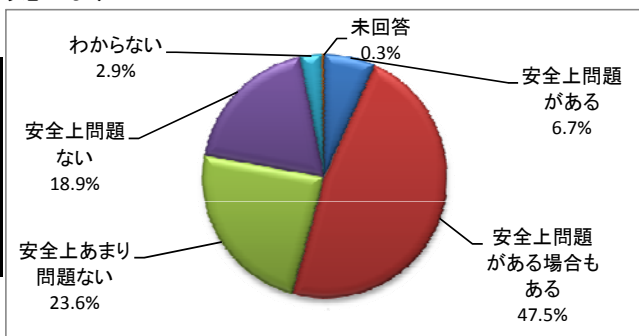
Q9. 管制業務以外の通達類や部内ルールについて、各職員まで通知され、実践されていますか

Q9	全体	
	人数	率(%)
通知され、実践されている	282	45.3%
通知されているが、一部実践されていない	191	30.7%
通知されていないことがある	63	10.1%
わからない	83	13.3%
未回答	4	0.6%



Q10. 管制運用室へ見学者が入ることについてどう思いますか

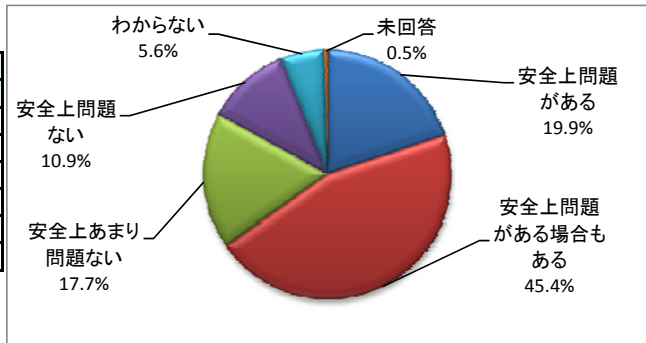
Q10	全体	
	人数	率(%)
安全上問題がある	42	6.7%
安全上問題がある場合もある	296	47.5%
安全上あまり問題ない	147	23.6%
安全上問題ない	118	18.9%
わからない	18	2.9%
未回答	2	0.3%





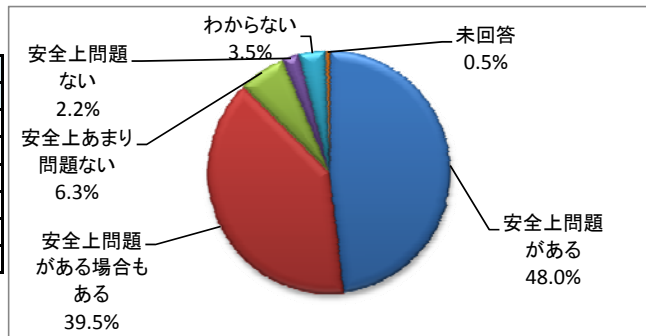
Q11. 見学者が、靴や携帯を管制運用室に持ち込む事についてどう思いますか

Q11	全体	
	人数	率(%)
安全上問題がある	124	19.9%
安全上問題がある場合もある	283	45.4%
安全上あまり問題ない	110	17.7%
安全上問題ない	68	10.9%
わからない	35	5.6%
未回答	3	0.5%



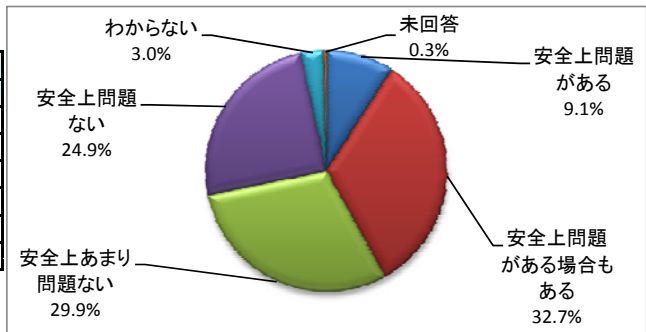
Q12. 身元確認が厳格に行われない場合があることについて、どう思いますか

Q12	全体	
	人数	率(%)
安全上問題がある	299	48.0%
安全上問題がある場合もある	246	39.5%
安全上あまり問題ない	39	6.3%
安全上問題ない	14	2.2%
わからない	22	3.5%
未回答	3	0.5%



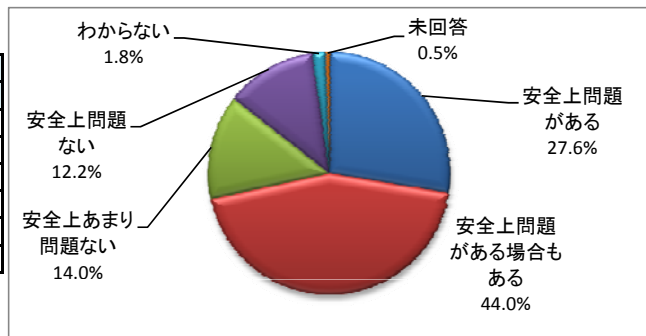
Q13. 見学者に、交信をモニターさせることについて、どう思いますか

Q13	全体	
	人数	率(%)
安全上問題がある	57	9.1%
安全上問題がある場合もある	204	32.7%
安全上あまり問題ない	186	29.9%
安全上問題ない	155	24.9%
わからない	19	3.0%
未回答	2	0.3%



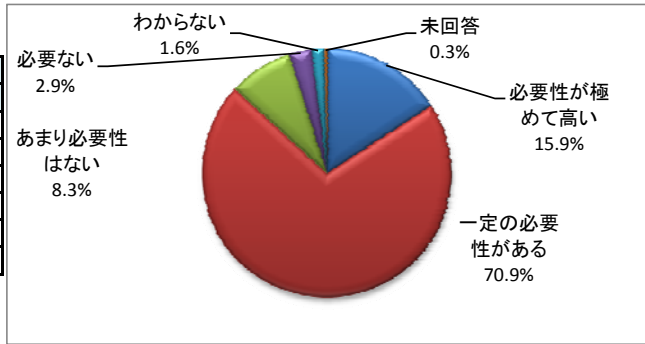
Q14. 見学者にハンドセット等管制機器を触らせることについて、どう思いますか

Q14	全体	
	人数	率(%)
安全上問題がある	172	27.6%
安全上問題がある場合もある	274	44.0%
安全上あまり問題ない	87	14.0%
安全上問題ない	76	12.2%
わからない	11	1.8%
未回答	3	0.5%



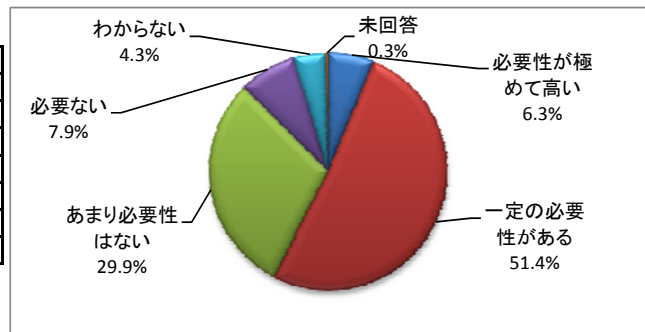
Q15. 見学の必要性についてどう思いますか

Q15	全体	
	人数	率(%)
必要性が極めて高い	99	15.9%
一定の必要性がある	442	70.9%
あまり必要性はない	52	8.3%
必要ない	18	2.9%
わからない	10	1.6%
未回答	2	0.3%



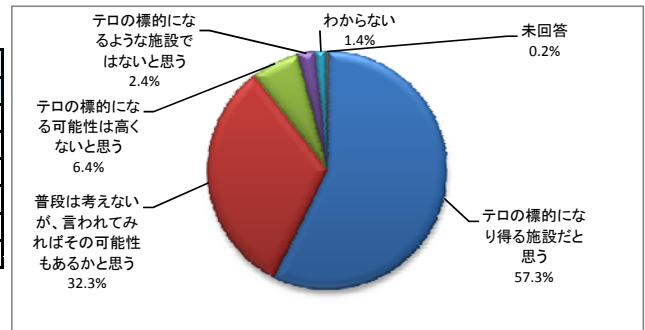
Q16. 親類・知人を見学者として管制運用室に立ち入らせることの必要性について、どう思いますか

Q16	全体	
	人数	率(%)
必要性が極めて高い	39	6.3%
一定の必要性がある	320	51.4%
あまり必要性はない	186	29.9%
必要ない	49	7.9%
わからない	27	4.3%
未回答	2	0.3%



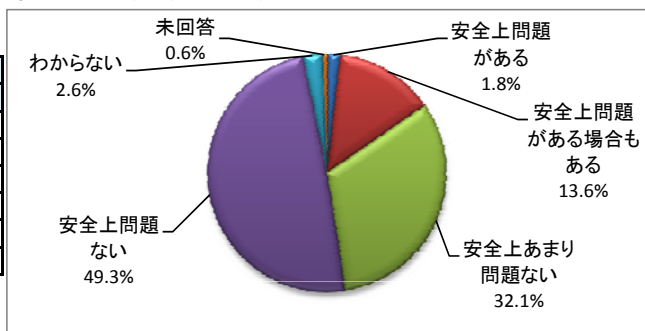
Q17. 管制運用室はテロの対象となり得るとの指摘についてどう思いますか

Q17	全体	
	人数	率(%)
テロの標的になり得る施設だと思う	357	57.3%
普段は考えないが、言われてみればその可能性もあるかと思う	201	32.3%
テロの標的になる可能性は高くないと思う	40	6.4%
テロの標的になるような施設ではないと思う	15	2.4%
わからない	9	1.4%
未回答	1	0.2%



Q18. 職員が、鞆や携帯を管制運用室に持ち込む事について、どう思いますか

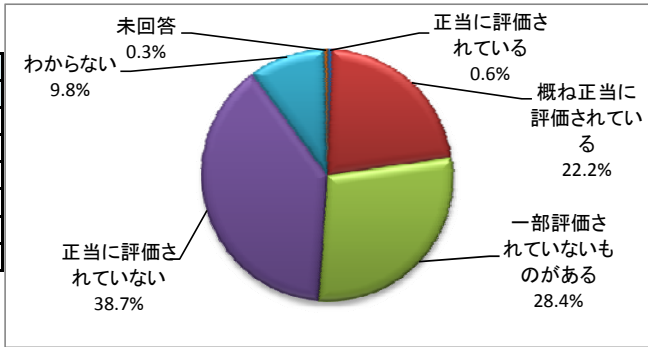
Q18	全体	
	人数	率(%)
安全上問題がある	11	1.8%
安全上問題がある場合もある	85	13.6%
安全上あまり問題ない	200	32.1%
安全上問題ない	307	49.3%
わからない	16	2.6%
未回答	4	0.6%



### Ⅲ 職務の評価について

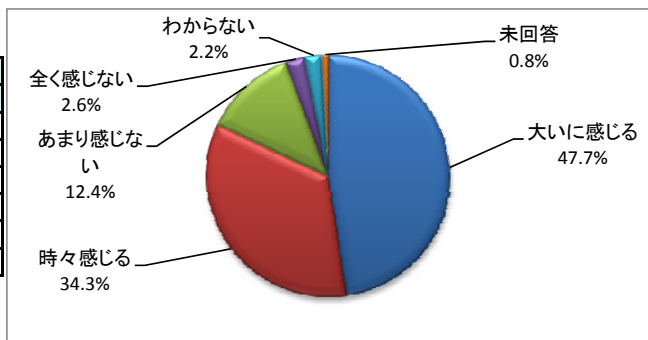
Q19. 管制官の業務に対する社会的な評価について、どのように思いますか

Q19	全体	
	人数	率(%)
正当に評価されている	4	0.6%
概ね正当に評価されている	138	22.2%
一部評価されていないものがある	177	28.4%
正当に評価されていない	241	38.7%
わからない	61	9.8%
未回答	2	0.3%



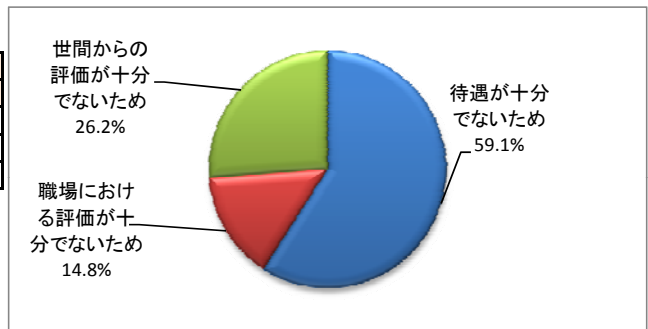
Q20. 現在の業務についてやりがいを感じますか

Q20	全体	
	人数	率(%)
大いに感じる	297	47.7%
時々感じる	214	34.3%
あまり感じない	77	12.4%
全く感じない	16	2.6%
わからない	14	2.2%
未回答	5	0.8%



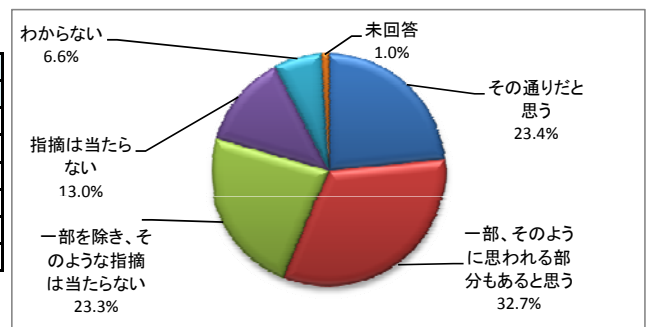
Q20-2. Q20でやりがいを「あまり感じない」、「全く感じない」と回答した理由として、どのような点があると考えられますか

Q20-2	全体	
	人数	率(%)
待遇が十分でないため	88	59.1%
職場における評価が十分でないため	22	14.8%
世間からの評価が十分でないため	39	26.2%



Q21. 管制官の世界は外部との交流が少ないため世間一般の意識とズレがあると思いますか

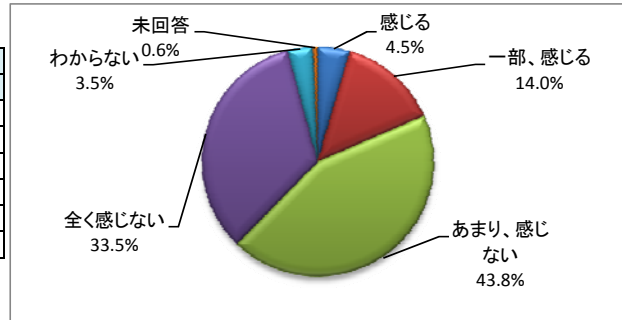
Q21	全体	
	人数	率(%)
その通りだと思う	146	23.4%
一部、そのように思われる部分もあると思う	204	32.7%
一部を除き、そのような指摘は当たらない	145	23.3%
指摘は当たらない	81	13.0%
わからない	41	6.6%
未回答	6	1.0%



#### IV 服務規律等について

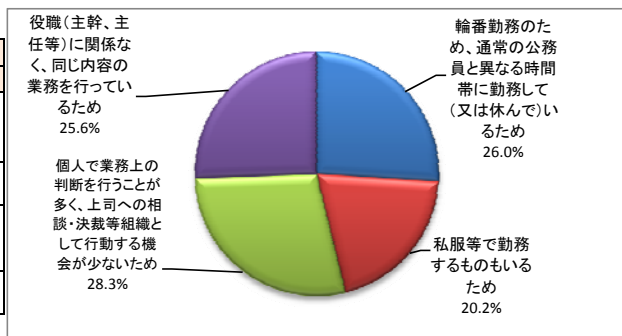
Q22. 仕事と私生活の区分について、曖昧と感じる部分がありますか

Q22	全体	
	人数	率(%)
感じる	28	4.5%
一部、感じる	87	14.0%
あまり、感じない	273	43.8%
全く感じない	209	33.5%
わからない	22	3.5%
未回答	4	0.6%



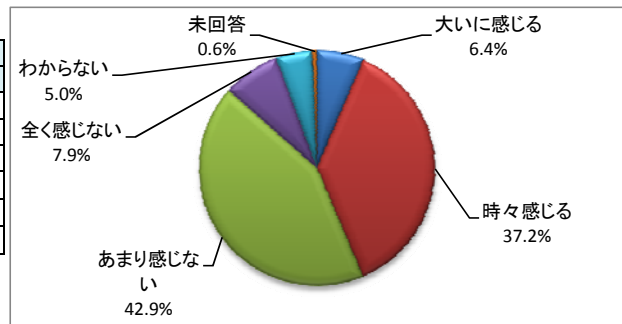
Q22-2. Q22で仕事と私生活の区分が曖昧を感じる、一部感じるに回答したことについて、具体的にどのような点があると考えられますか

Q22-2	全体	
	人数	率(%)
輪番勤務のため、通常の公務員と異なる時間帯に勤務して(又は休んで)いるため	58	26.0%
私服等で勤務するものもいるため	45	20.2%
個人で業務上の判断を行うことが多く、上司への相談・決裁等組織として行動する機会が少ないため	63	28.3%
役職(主幹、主任等)に関係なく、同じ内容の業務を行っているため	57	25.6%



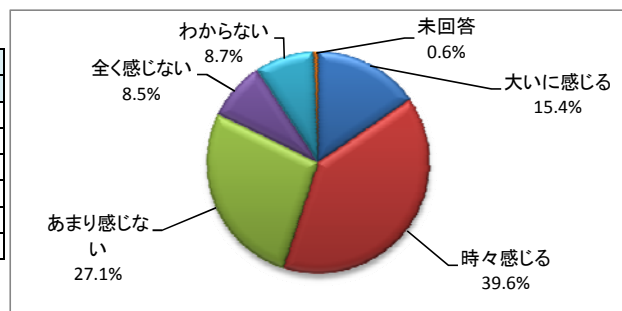
Q24. 組織としての規律が緩んでいると感じることはありますか

Q24	全体	
	人数	率(%)
大いに感じる	40	6.4%
時々感じる	232	37.2%
あまり感じない	267	42.9%
全く感じない	49	7.9%
わからない	31	5.0%
未回答	4	0.6%



Q25. 管理職は規程類を率先垂範して模範となっていると感じますか

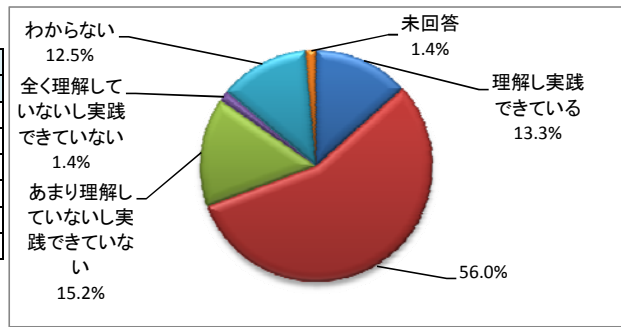
Q25	全体	
	人数	率(%)
大いに感じる	96	15.4%
時々感じる	247	39.6%
あまり感じない	169	27.1%
全く感じない	53	8.5%
わからない	54	8.7%
未回答	4	0.6%





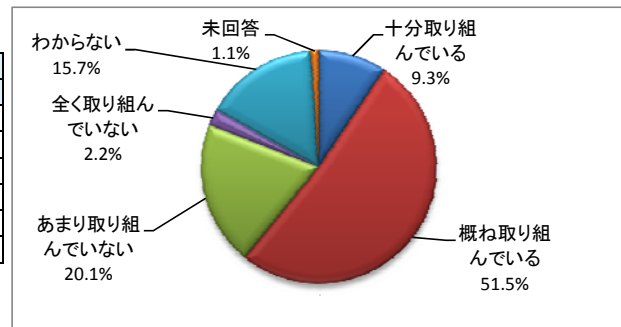
Q26. コンプライアンスについて、きちんと理解して実践できていると思いますか

Q26	全体	
	人数	率(%)
理解し実践できている	83	13.3%
あまり理解していないし実践できていない	349	56.0%
全く理解していないし実践できていない	95	15.2%
わからない	9	1.4%
未回答	78	12.5%
	9	1.4%



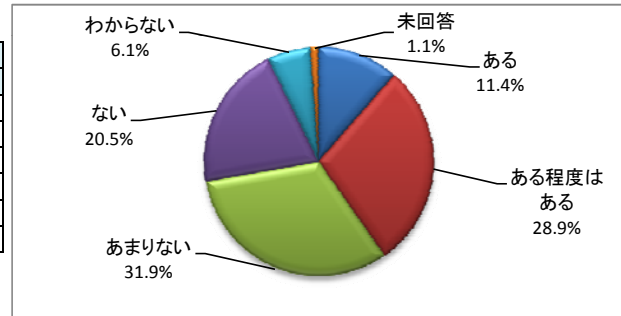
Q27. あなたは自分の部署のコンプライアンスや公務員倫理についての取組みが十分だと思いますか

Q27	全体	
	人数	率(%)
十分取り組んでいる	58	9.3%
概ね取り組んでいる	321	51.5%
あまり取り組んでいない	125	20.1%
全く取り組んでいない	14	2.2%
わからない	98	15.7%
未回答	7	1.1%



Q28. あなたの職場では自己の良識に沿って行動しようとするによりジレンマに陥ることはありますか

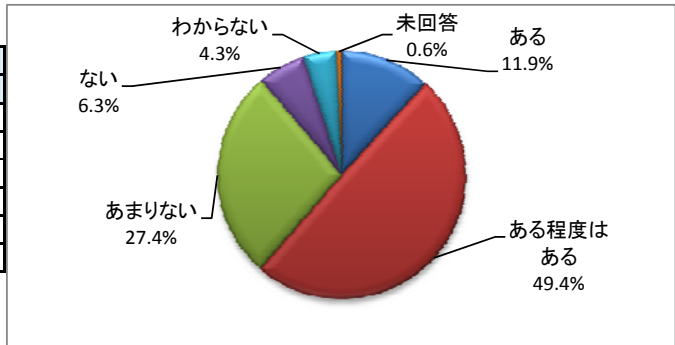
Q28	全体	
	人数	率(%)
ある	71	11.4%
ある程度はある	180	28.9%
あまりない	199	31.9%
ない	128	20.5%
わからない	38	6.1%
未回答	7	1.1%



## V その他

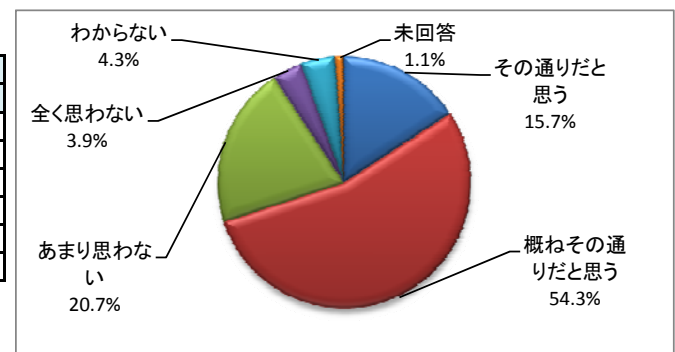
Q29. あなたが現在所属している管制部について、組織としての一体感はあると思いますか

Q29	全体	
	人数	率(%)
ある	74	11.9%
ある程度はある	308	49.4%
あまりない	171	27.4%
ない	39	6.3%
わからない	27	4.3%
未回答	4	0.6%



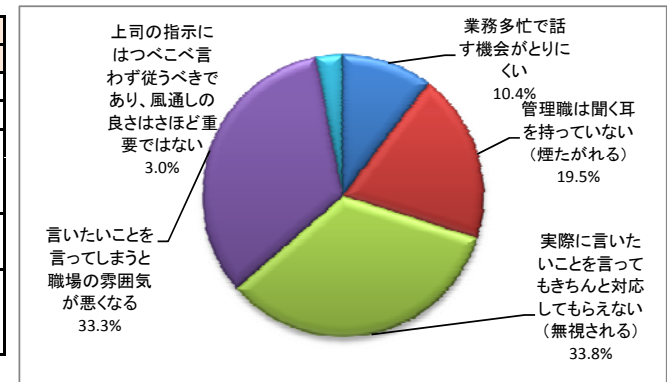
Q30. 自分の職場は上司に対しても言いたいことが言える風通しの良い職場だと思いますか

Q30	全体	
	人数	率(%)
その通りだと思う	98	15.7%
概ねその通りだと思う	338	54.3%
あまり思わない	129	20.7%
全く思わない	24	3.9%
わからない	27	4.3%
未回答	7	1.1%



Q30-2. なぜ、そのように思うのですか(複数回答可)

Q30-2	全体	
	人数	率(%)
業務多忙で話す機会がとりにくい	24	10.4%
管理職は聞く耳を持っていない(煙たがれる)	45	19.5%
実際に言いたいことを言ってもきちんと対応してもらえない(無視される)	78	33.8%
言いたいことを言ってしまうと職場の雰囲気が悪くなる	77	33.3%
上司の指示にはつべこべ言わず従うべきであり、風通しの良さはさほど重要ではない	7	3.0%



記述式回答については、非常に多岐にわたっているが、その中でも顕著な意見を以下に記述。Q32及び、その他の意見については別途委員の方々にお知らせする予定。

Q5 管制業務上、自分の安全意識や緊張感が希薄になっていると感じることはありますか？

Q5-2 Q5で「しばしばある」「時々ある」と回答した方への質問。具体的にどのような事例をもってそう思いますか？

- ・トラフィックが少なくなる時間帯に自分の安全意識や緊張感が希薄になっていると感じる、という意見が多い。特に繁忙な業務を終えた後、交通量が一時的に少なくなった時に感じるという意見が多い。

Q5-3 Q5で「しばしばある」「時々ある」と回答した方への質問。なぜ、安全意識や緊張感が希薄になっていると思いますか？

- ・様々な意見の中で比較的多いのは、業務の慣れから緊張感が希薄になるという意見。現官署の勤続年数が長すぎるからという意見もある。

Q6 管制業務上、他職員の安全意識や緊張感が希薄になっていると感じることはありますか？

Q6-2 上記設問で「しばしばある」「時々ある」と回答した方への質問。具体的にどのような事例をもってそう思いますか？

- ・運用室内での私語が多いことや業務態度に安全意識や緊張感が希薄になっていると感じているものが多い。

Q6-3 Q6で「しばしばある」「時々ある」と回答した方への質問。なぜ、安全意識や緊張感が希薄になっていると思いますか？

- ・業務の慣れから緊張感が希薄になるという意見が多い。

Q7-2 Q7で「あまり即していない」「全く即していない」と回答した方への質問。具体的にどのような点が即していないと思いますか？

- ・見学に対する規制等について、厳しすぎる、もっとオープンにすべきという意見と、曖昧、もっと的確に管理すべきという両面の意見がある。
- ・他官署の管制官は別扱いにして欲しいという意見。

Q 1 9 管制官の業務に対する社会的な評価について、どのように思いますか？

Q 1 9 - 2 上記設問で「一部評価されていないものがある」「正當に評価されていない」と回答した方への質問。具体的にどういう面で評価されていないと思いますか。また、それに対してどうしたら良いと思いますか？

- ・ 職責に比較して待遇（給与）面で評価されていないと感じている意見が多い。
- ・ 管制官という仕事が一般の人に理解されていない、不具合事案ばかりがクローズアップされ、日々の業務が評価されないという意見もある。

Q 2 1 管制官の世界は外部との交流が少ないため世間一般の意識とズレがあると思いますか？

Q 2 1 - 2 上記設問で「その通りだと思う」「一部、そのように思われる部分もあると思う」と回答した方への質問。具体的にどういう面でズレがあると思いますか？

- ・ 一般常識、社会人としての振る舞いや行動規範に欠けている。
- ・ 管制官というより公務員の世界が一般社会とずれているという意見も多い。
- ・ 服装の面という意見もある。

Q 2 3 管制官の職業意識や倫理観の維持、高揚のためにはどのようにすればよいと考えますか？

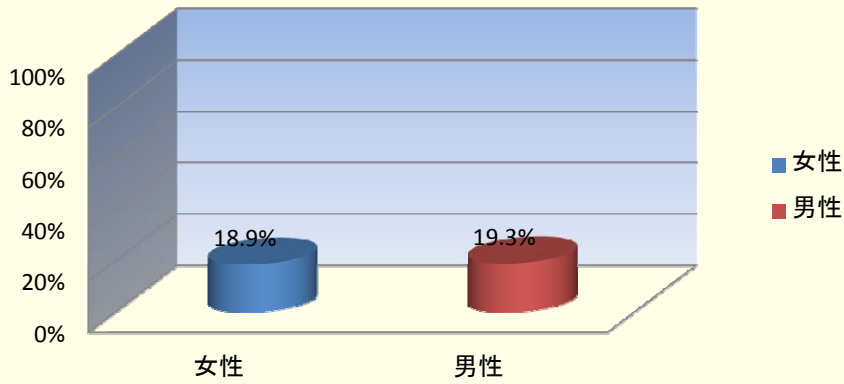
- ・ 研修、教育の改善。
- ・ 一般の人に管制官の世界をよく知ってもらう。
- ・ 待遇面の改善。

Q 3 1 昨年10月の福岡管制部の事案と本年7月の東京管制部の事案が起きた原因は何だと考えますか？

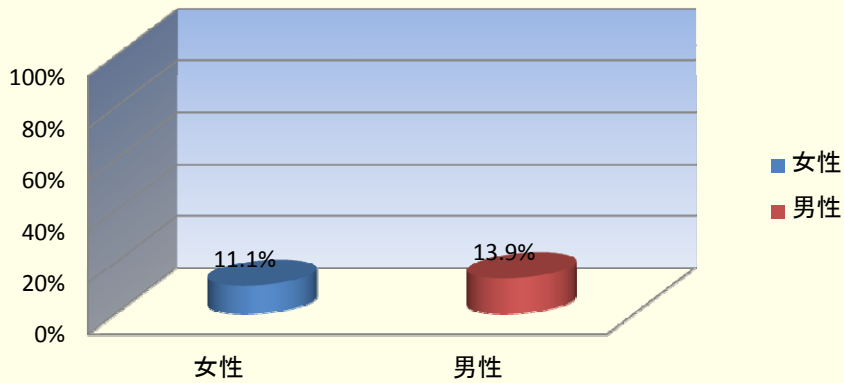
- ・ 個人の認識の甘さ。
- ・ 安全意識の希薄さの表れ。
- ・ 社会的責任感の欠如。

## 「性別」分析

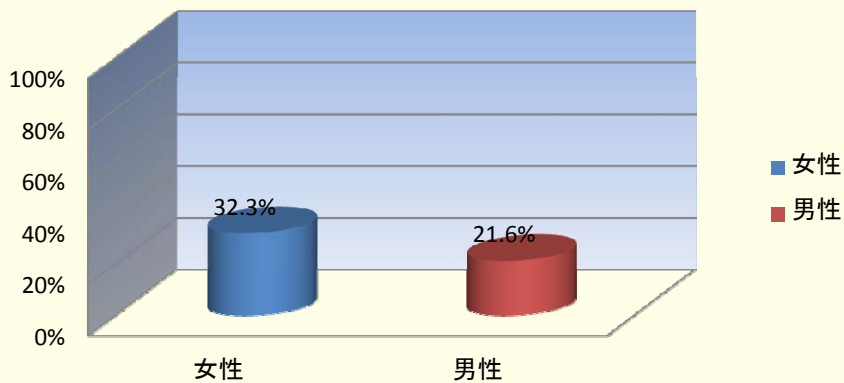
Q1 管制業務に関する規定類等の改正について、各職員まで通知され実践されていますか？（通知されているが一部実践されていない、通知されていないことがあると回答した割合）



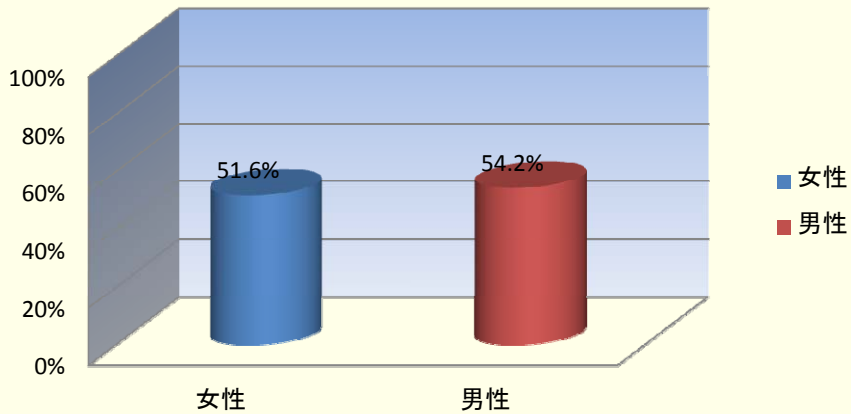
Q2 管制業務における管制官以外の職種(管制技術官等)との連携は十分に行われていますか？（連携不足が見られることがある、連携が不十分であると回答した割合）



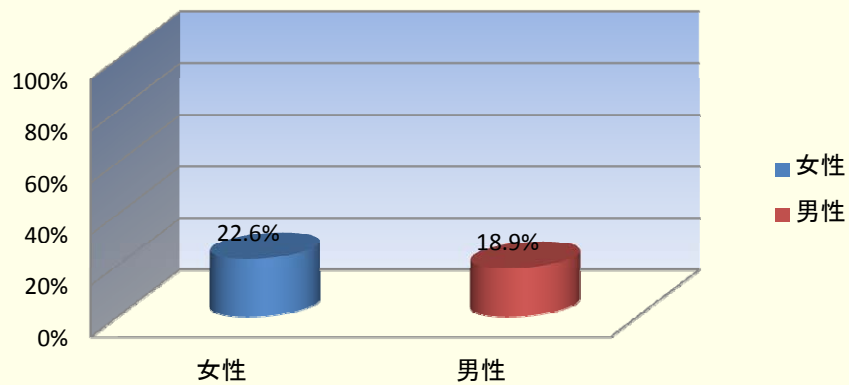
Q3 組織内において責任と権限が明確になっていると思いますか？（あまり明確になっていない、全く明確になっていないと回答した割合）



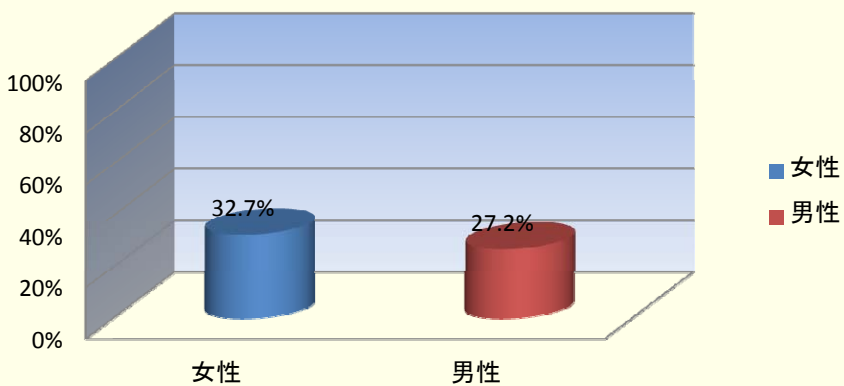
Q4 あなたは管制官の仕事に誇りを持っていますか？(持っている  
と回答した割合)



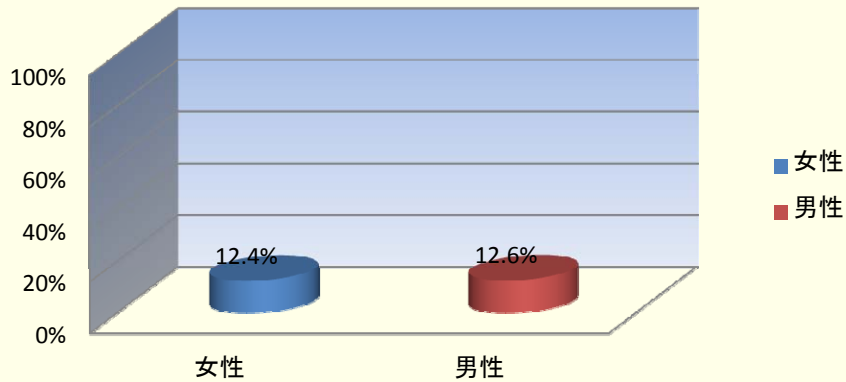
Q5 管制業務上、自分の安全意識や緊張感が希薄になっていると  
感じることはありますか？(しばしばある、時々あると回答した割  
合)



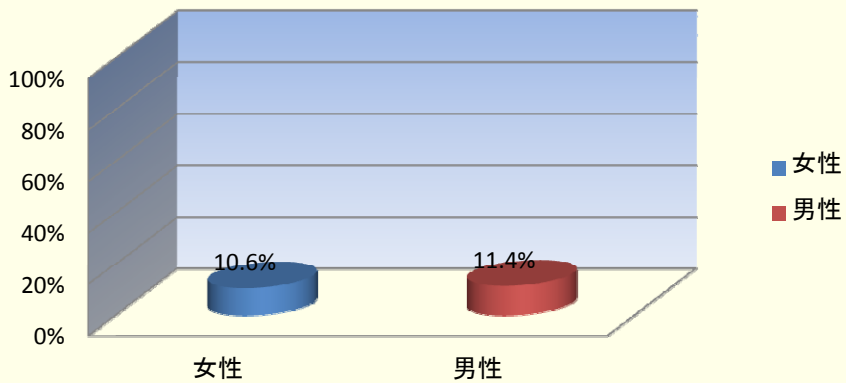
Q6 管制業務上、他職員の安全意識や緊張感が希薄になっている  
と感じることはありますか？(しばしばある、時々あると回答した割  
合)



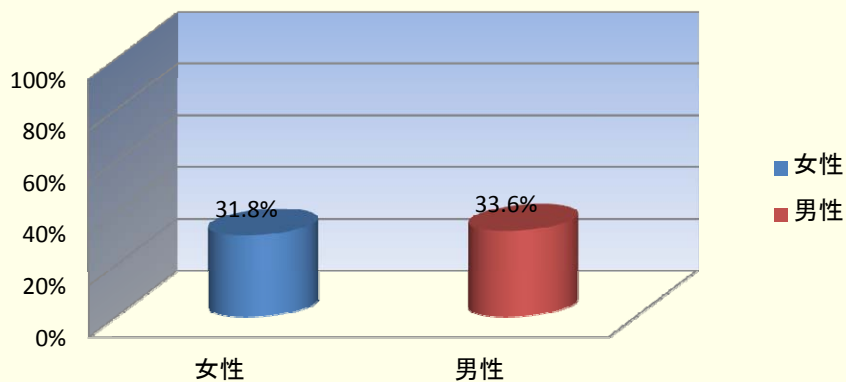
Q7 見学受入要領等、職場における規程類は実態に即していると思いますか？(あまり即していない、全く即していないと回答した割合)



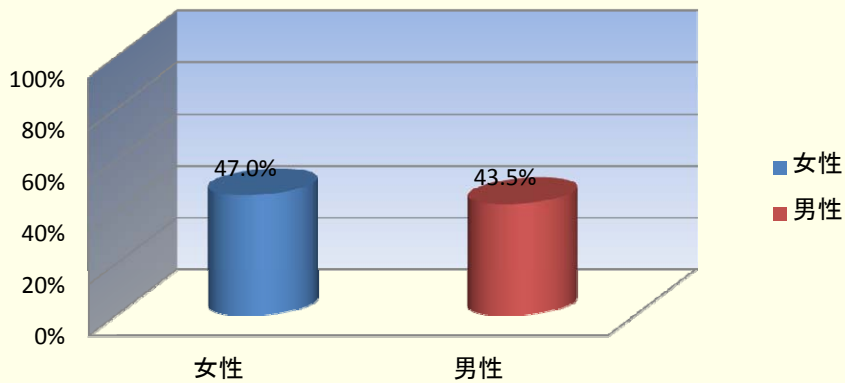
Q8 管制業務以外の事務についても安全意識や緊張感を保持すべき対象であると認識していますか？(あまり認識していない、認識していないと回答した割合)



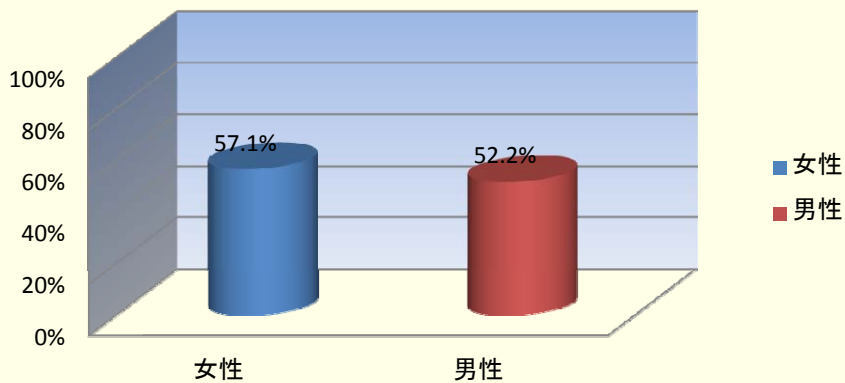
Q9 管制業務以外の通知類や部内ルールについて各職員まで通知され実践されていますか？(通知されているが一部実施されていない、通知されていないことがあると回答した割合)



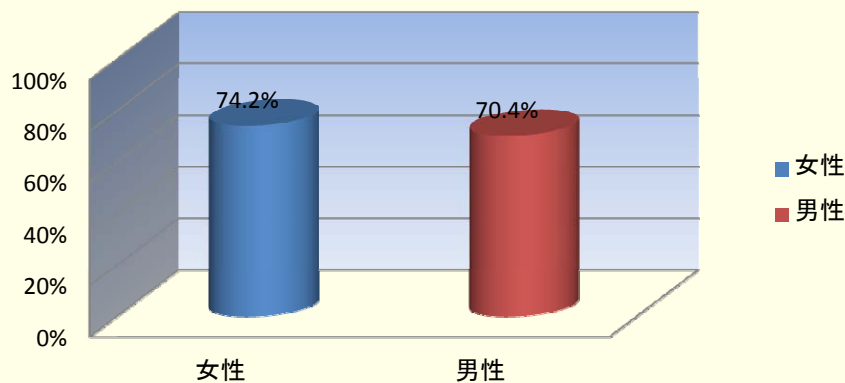
Q10 管制運用室へ見学者が入ることについてどう思いますか？  
(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



Q11 見学者が靴や携帯を管制運用室へ持ち込むことについてどう  
思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると  
回答した割合)

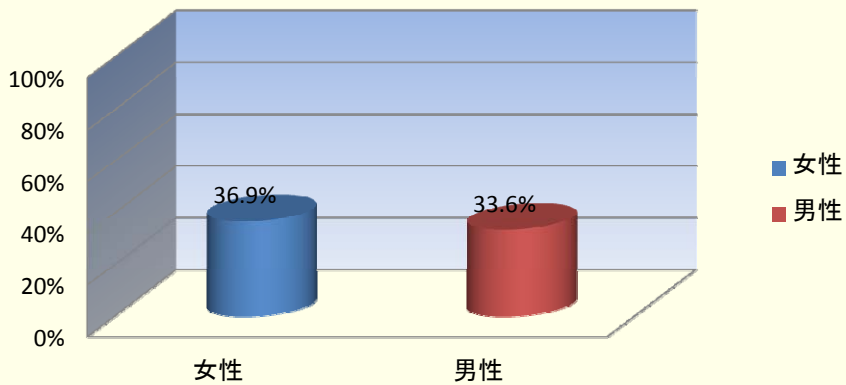


Q12 身元確認が厳格に行われない場合があることについてどう思  
いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回  
答した割合)

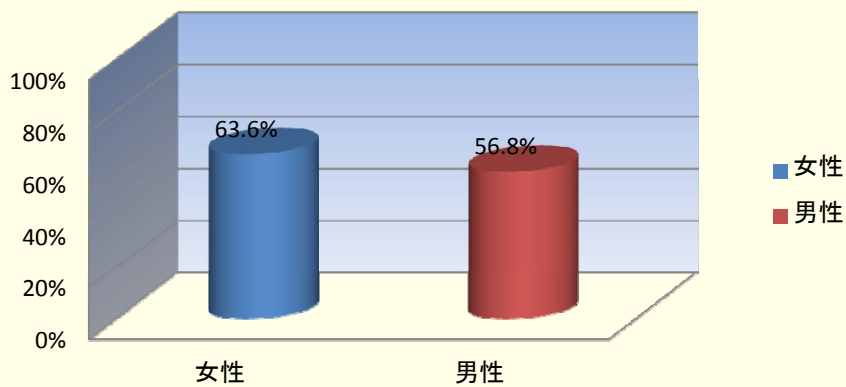




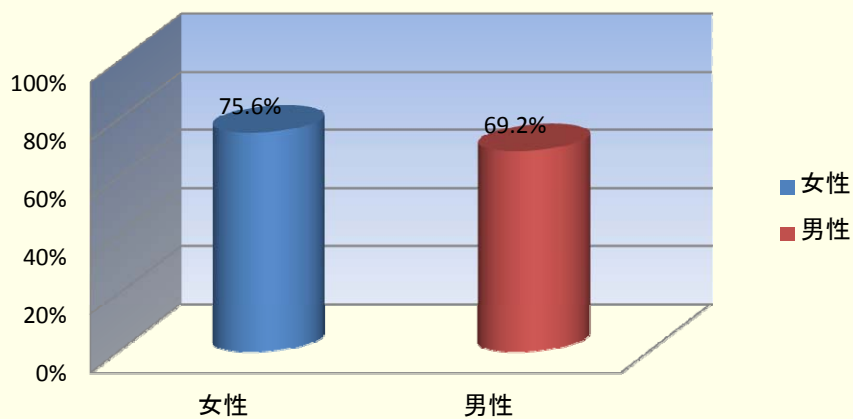
Q13 見学者に交信をモニターさせることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



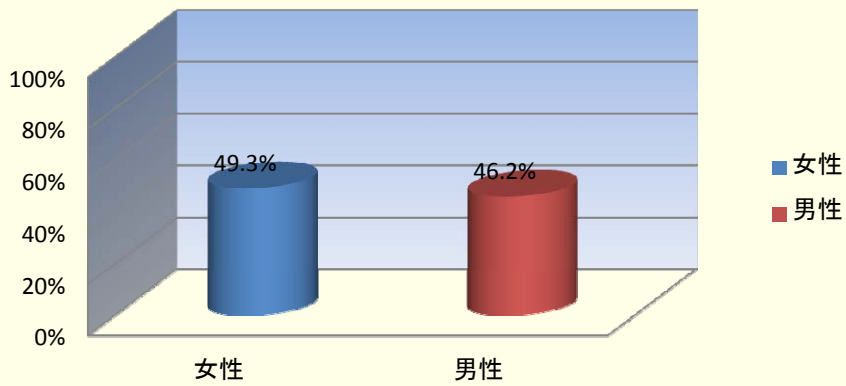
Q14 見学者にハンドセット等管制機器を触らせることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



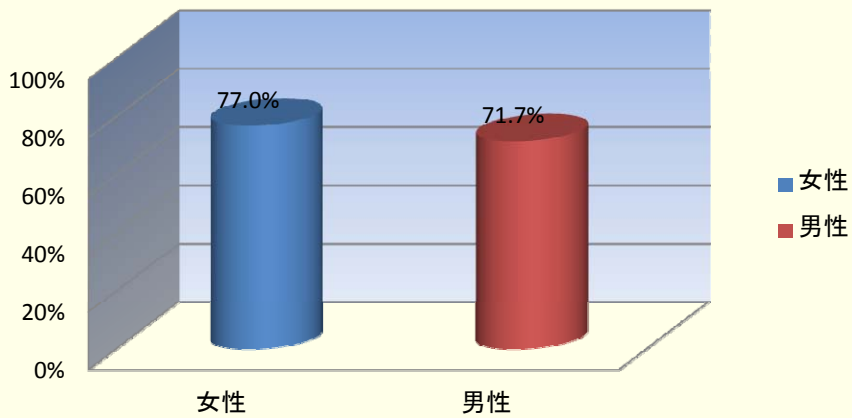
Q15 見学の必要性についてどう思いますか？(必要性が極めて高い、一定の必要性があると回答した割合)



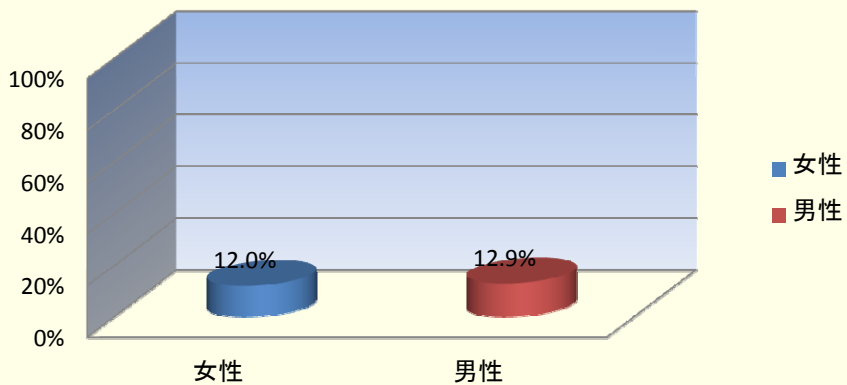
Q16 親類・知人を見学者として管制運用室に立ち入らせることの必要性についてどう思いますか？(必要性が極めて高い、一定の必要性があると回答した割合)



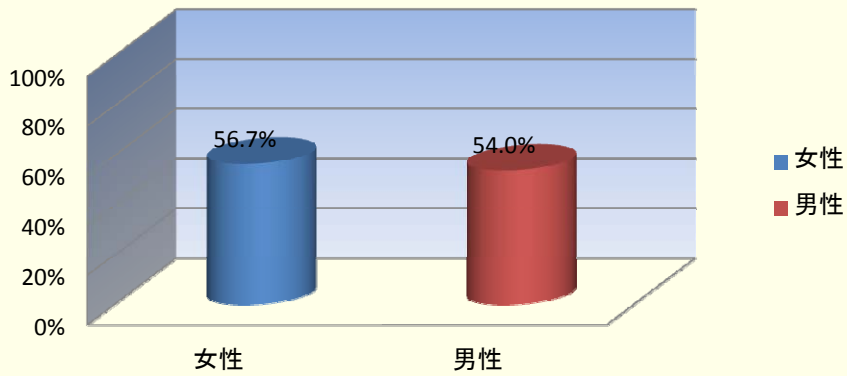
Q17 管制運用室はテロの対象となり得るとの指摘についてどう思いますか？(標的となり得る、テロの可能性もあると回答した割合)



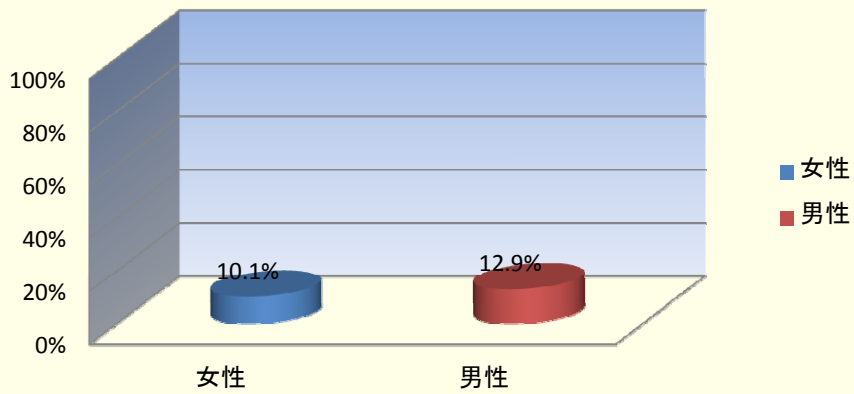
Q18 職員が靴や携帯を管制運用室に持ち込むことについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



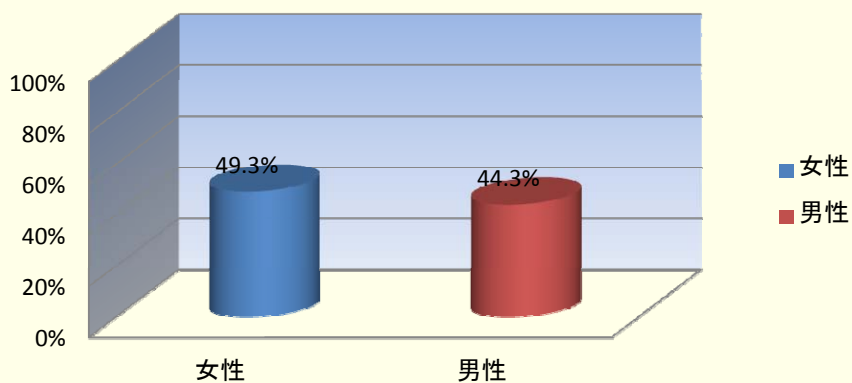
Q19 管制官の業務に対する社会的な評価について、どのように思いますか？（一部正當に評価されていないものがある、正當に評価されていないと回答した割合）



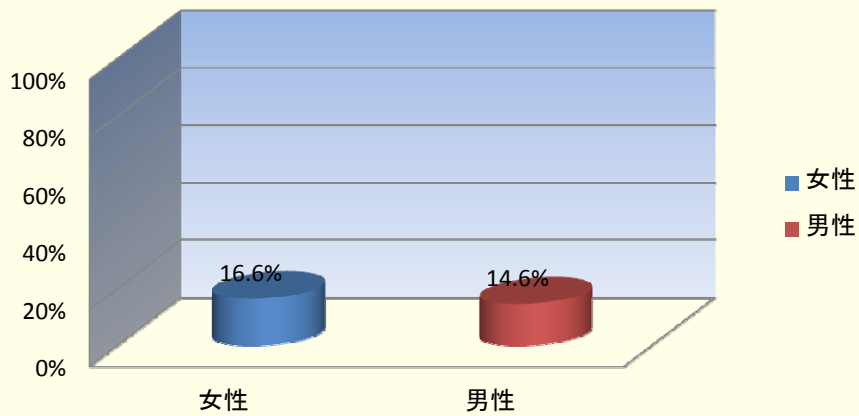
Q20 現在の業務についてやりがいを感じますか？（あまり感じない、全く感じないと回答した割合）



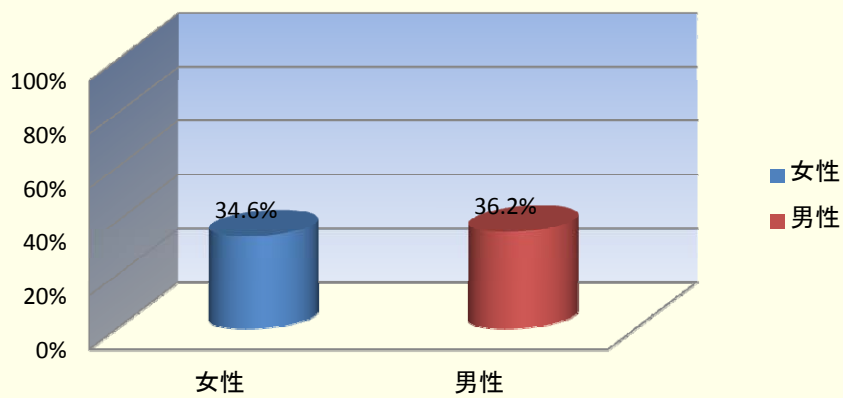
Q21 管制官の世界は外部との交流が少ないため、世間一般の常識とズレがあると思いますか？（その通りだと思う、一部その通りだと思うと回答した割合）



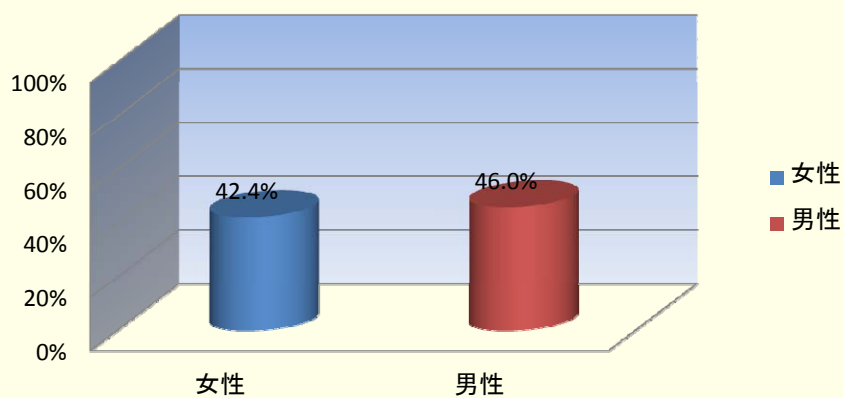
Q22 仕事と私生活の区分について曖昧と感じる部分がありますか？（感じる、一部感じると回答した割合）



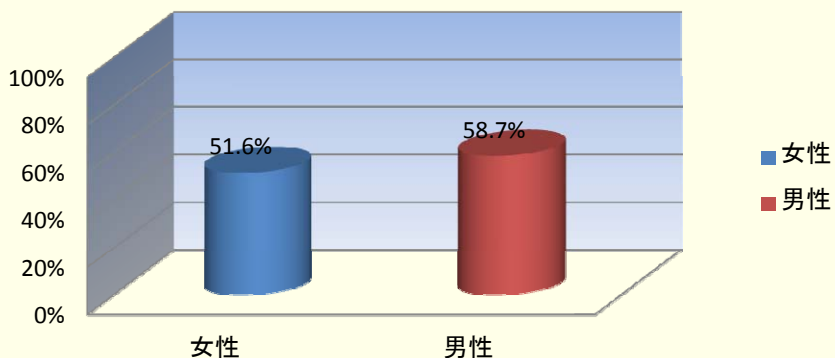
Q24 組織としての規律が緩んでいると感じる事がありますか？（大いに感じる、時々感じると回答した割合）



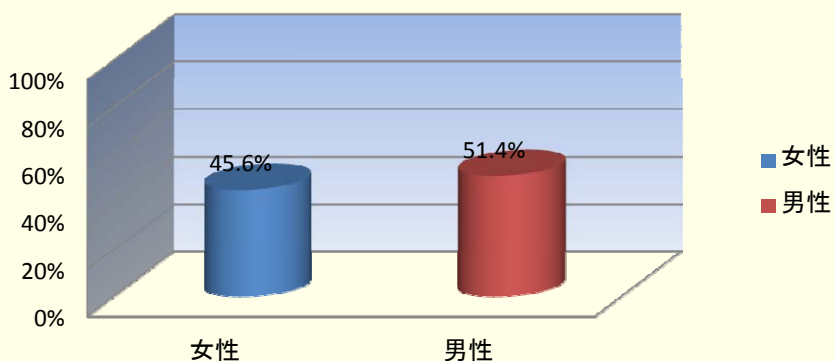
Q25 管理職は規程類を率先垂範して模範となっていると感じますか？（大いに感じる、時々感じると回答した割合）



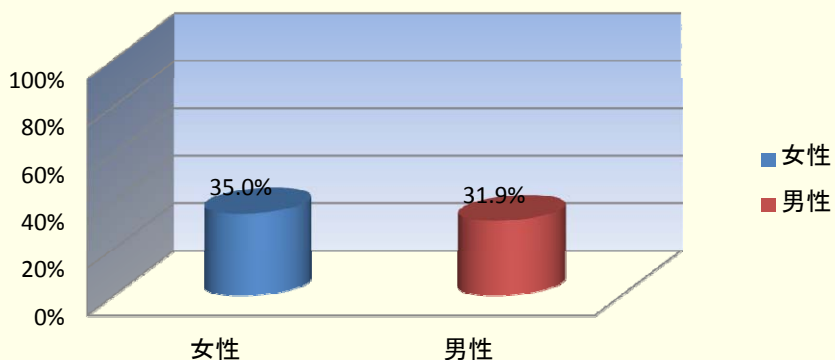
Q26 コンプライアンスについてきちんと理解し実践できていると思いますか？（理解し実践できている、ある程度理解し実践できていると回答した割合）



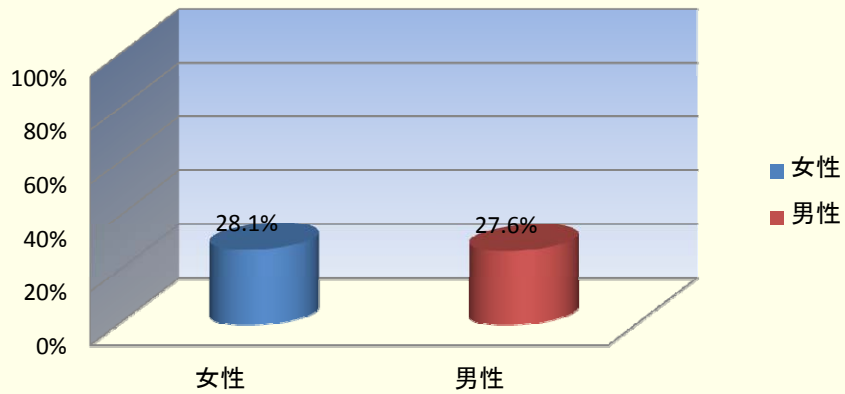
Q27 あなたは自分の部署のコンプライアンスや公務員倫理についての取り組みが十分だと思いますか？（十分取り組んでいる、概ね取り組んでいると回答した割合）



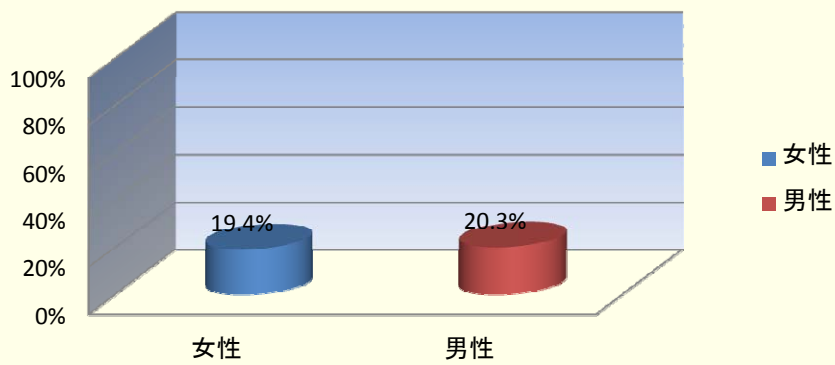
Q28 あなたの職場では自己の良識に沿って行動することによりジレンマに陥ることはありますか？（ある、ある程度あると回答した割合）



Q29 あなたが所属している管制部について組織としての一体感  
はあると思いますか？(あまりない、ないと回答した割合)

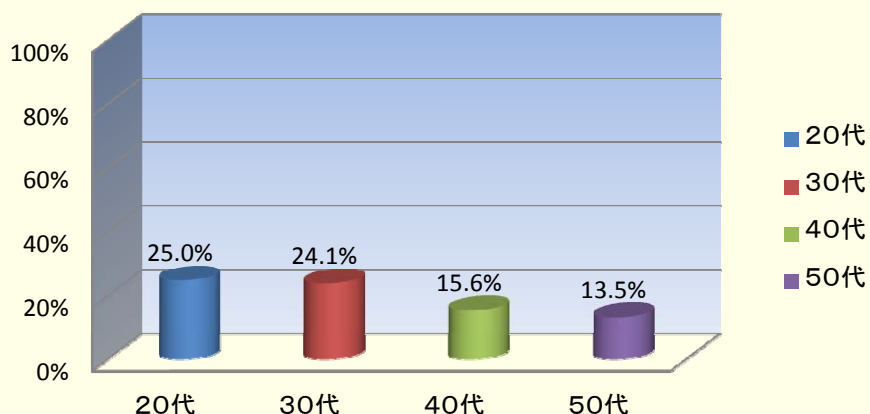


Q30 自分の職場は上司に対して言いたいことが言える風通しの  
良い職場だと思いますか？(あまり思わない、全く思わないと回答  
した割合)

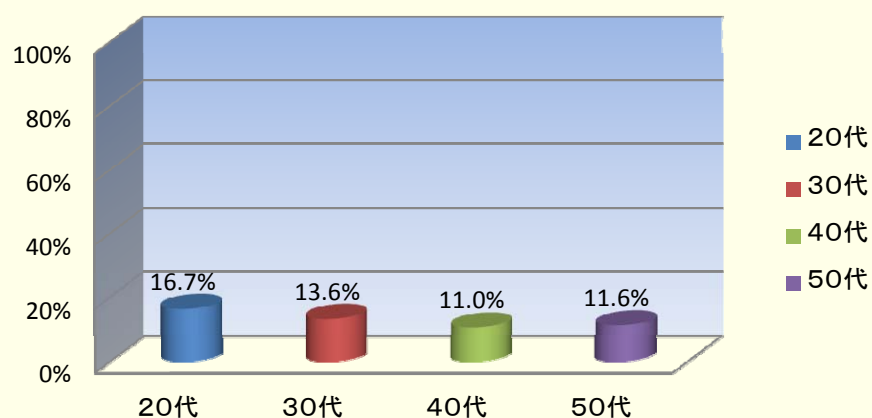


## 「年代別」分析

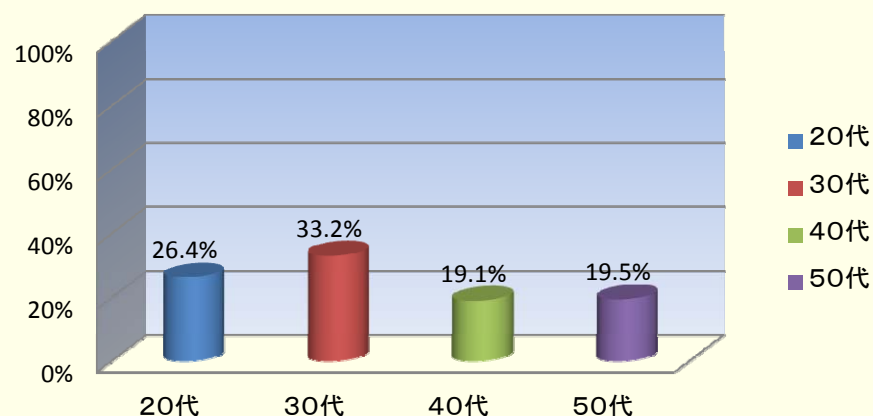
Q1 管制業務に関する規程類の改正について、各職員まで通知され、実践されていますか？（通知されているが一部実践されていない、通知されていないと回答した割合）



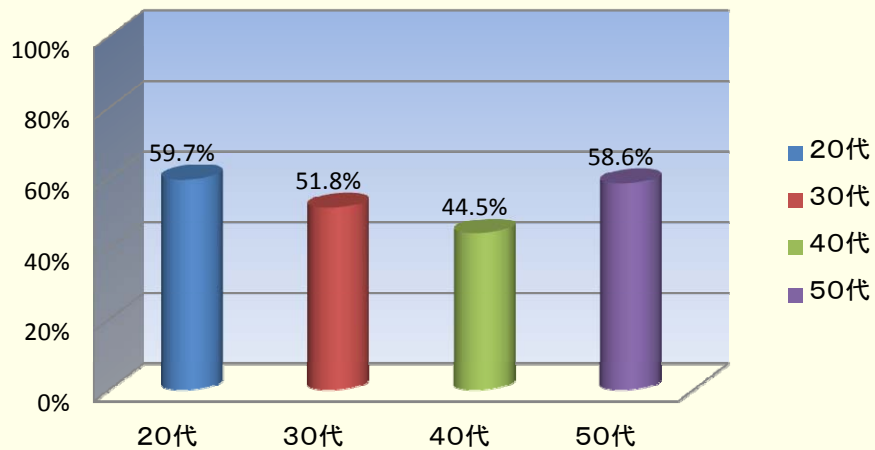
Q2 管制業務における管制官以外の職種(管制技術官等)との連携は十分に行われていますか？（連携不足が見られることがある、連携が不十分であると回答した割合）



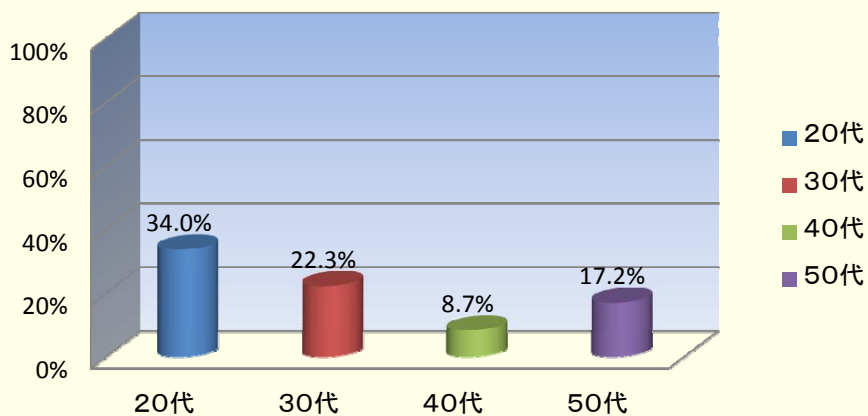
Q3 組織内において責任と権限が明確になっていると思いますか？（あまり明確になっていない、全く明確になっていないと回答した割合）



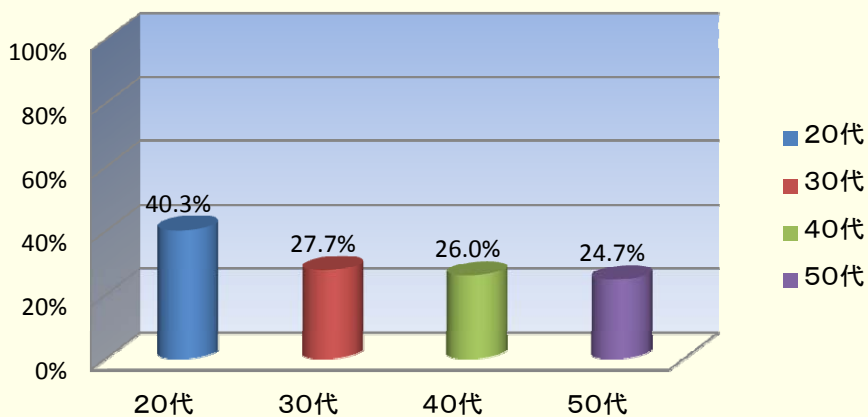
Q4 あなたは管制官の仕事に誇りを持っていますか？(持っている  
と回答した割合)



Q5 管制業務上、自分の安全意識や緊張感が希薄になっている  
と感じることはありますか？(しばしばある、時々あると回答した割  
合)

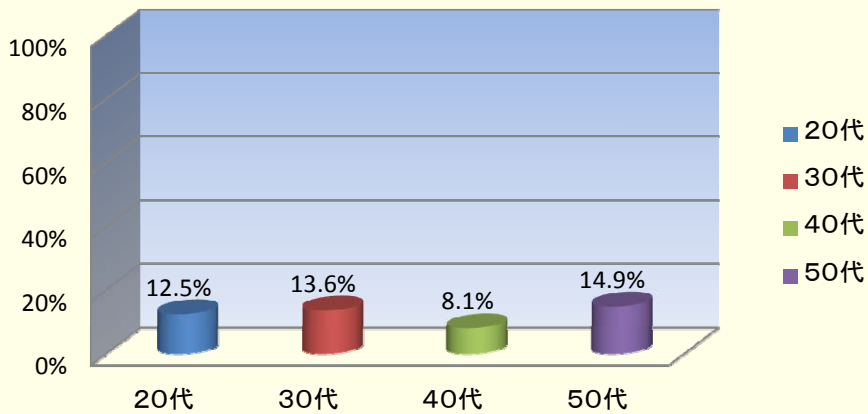


Q6 管制業務上、他職員の安全意識や緊張感が希薄になってい  
ると感じることはありますか？(しばしばある、時々あると回答した  
割合)

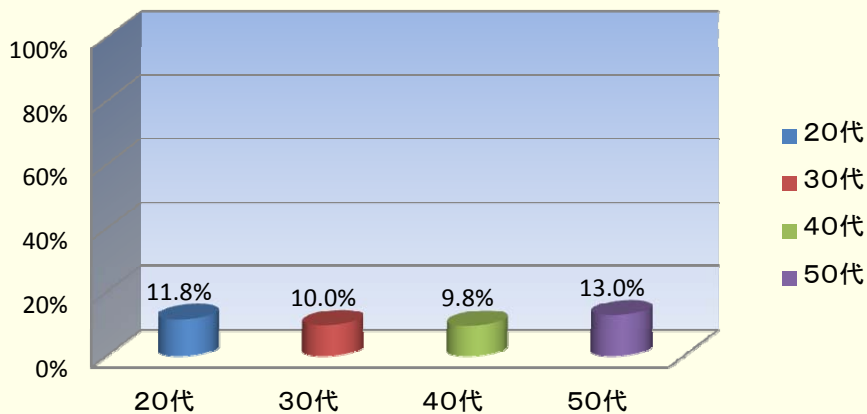




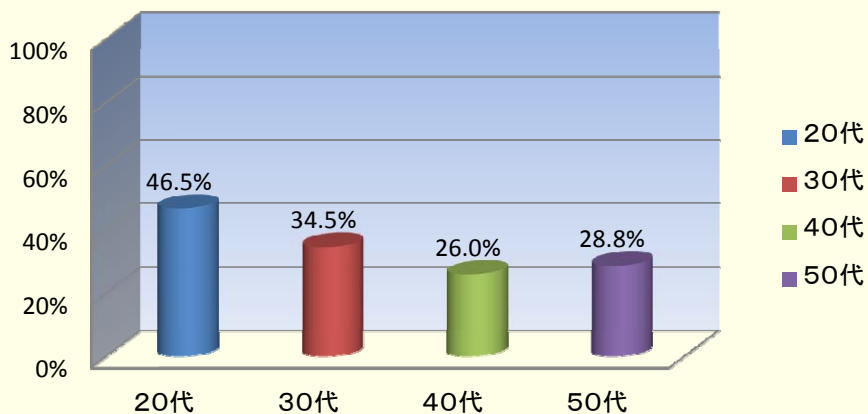
Q7 見学受入要領等、職場における規程類は実態に即している  
と思いますか？(あまり即していない、全く即していないと回答した  
割合)



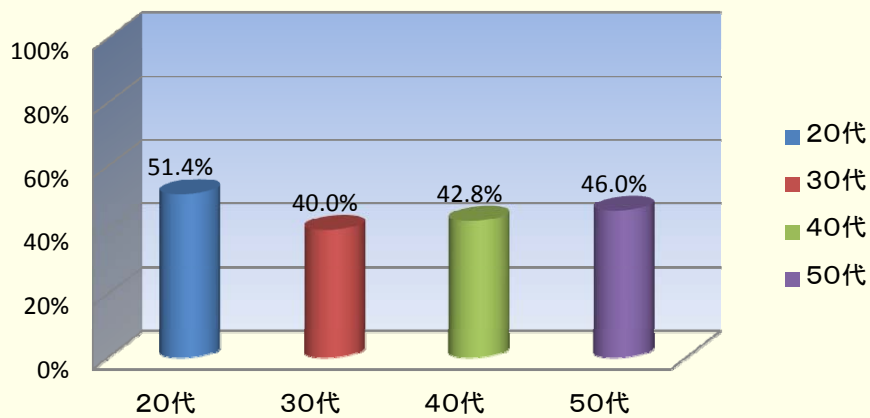
Q8 管制業務以外の事務についても、安全意識や緊張感を保持  
すべき対象であると認識していますか？(あまり認識していない、  
認識していないと回答した割合)



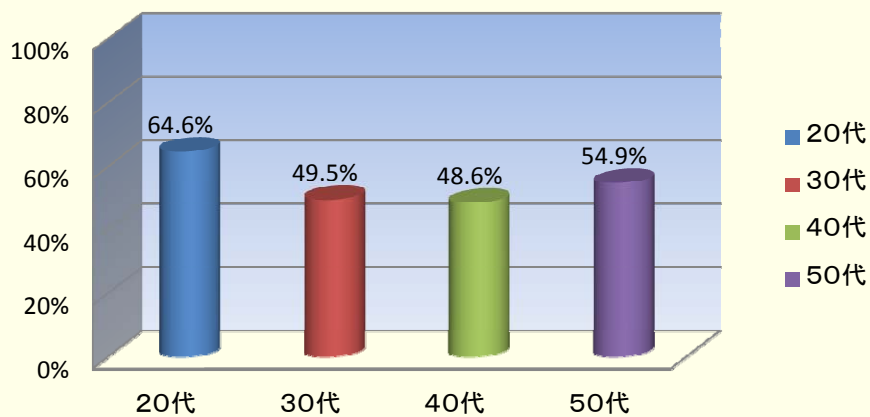
Q9 管制業務以外の通達類や部内ルールについて各職員に通知  
され、実践されていますか？(通知されているが一部実践され  
ていない、通知されていないことがあると回答した割合)



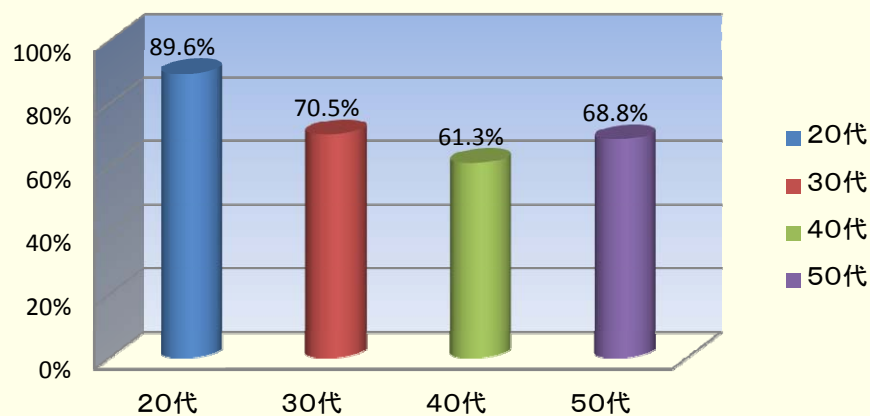
Q10 管制運用室へ見学者が入ることについてどう思いますか？  
(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



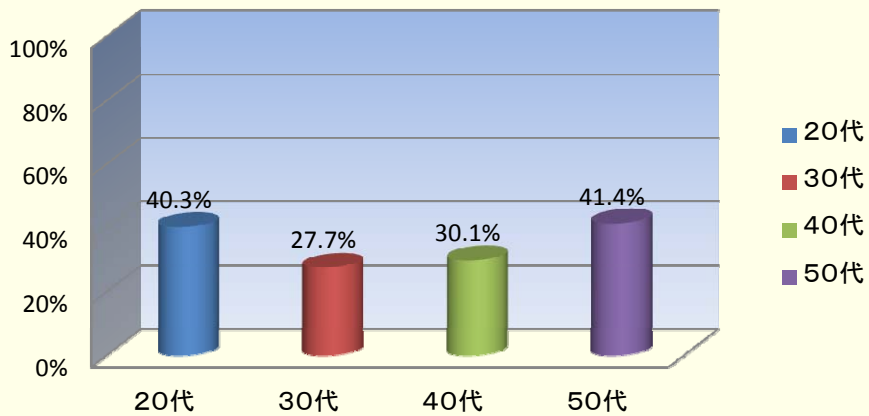
Q11 見学者が鞆や携帯を管制運用室へ持ち込むことについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



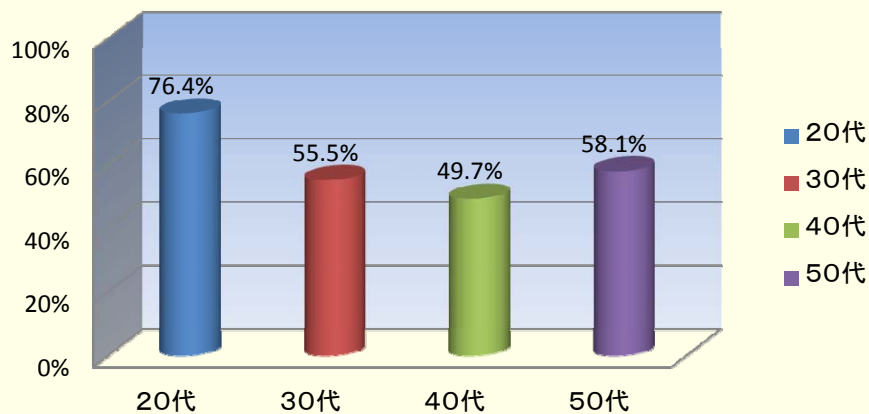
Q12 身元確認が厳格に行われない場合があることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



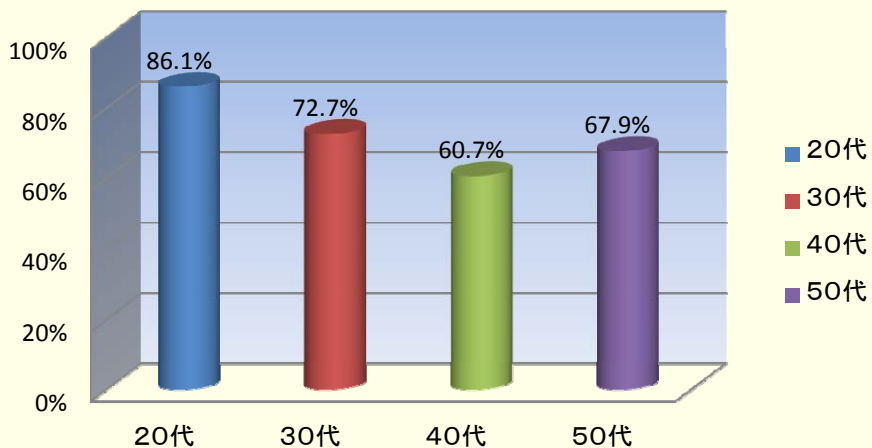
Q13 見学者に交信をモニターさせることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



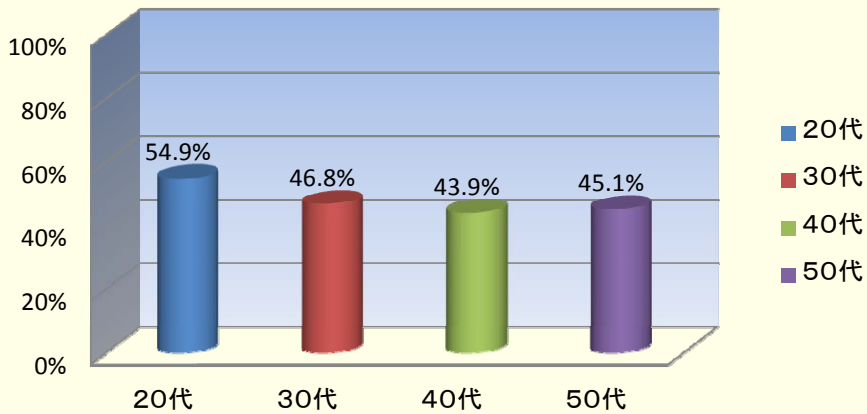
Q14 見学者にハンドセット等管制機器を触らせることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



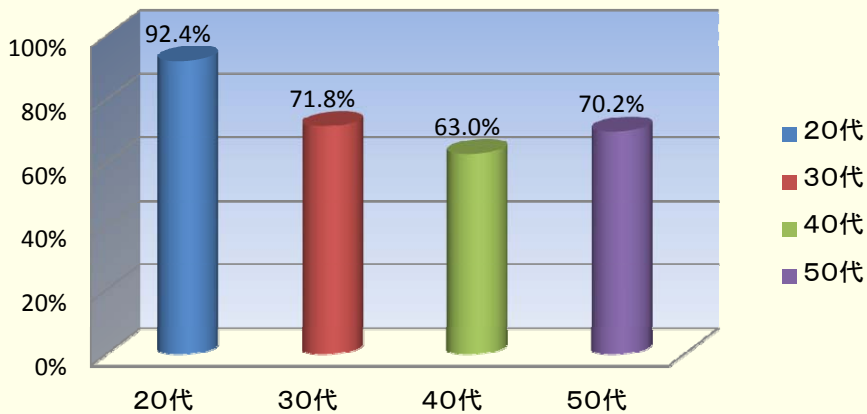
Q15 見学者の必要性についてどう思いますか？(必要性が極めて高い、一定の必要性があると回答した割合)



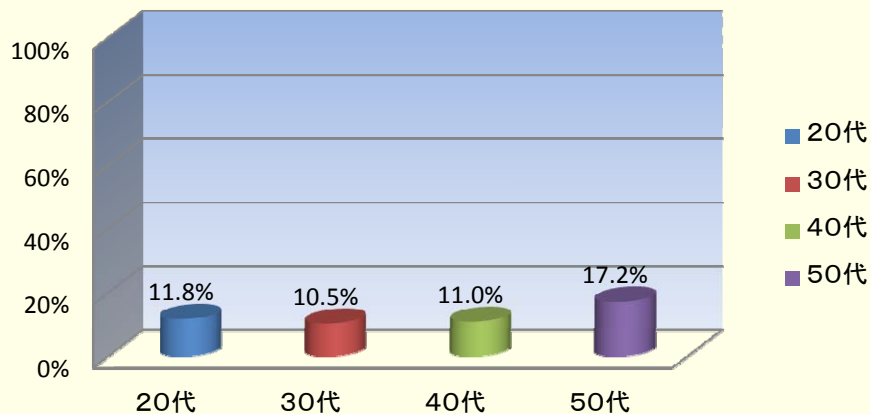
Q16 親類・知人を見学者としてとして管制運用室に立ち入らせることの必要性についてどう思いますか？（必要性が極めて高い、一定の必要性があると回答した割合）



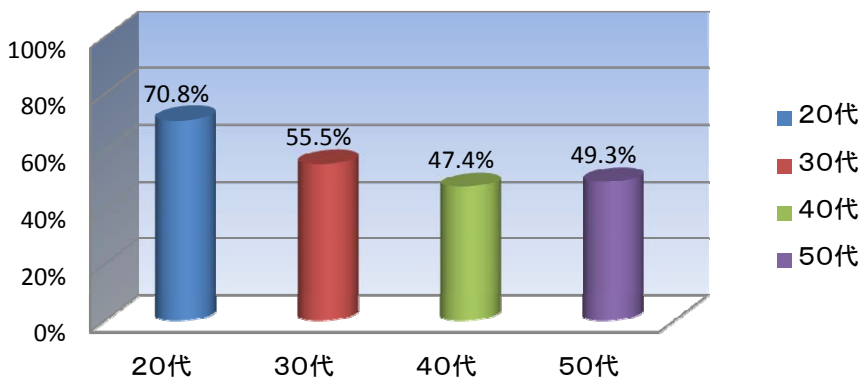
Q17 管制運用室はテロの対象となり得るとの指摘についてどう思いますか？（標的となり得る、テロの可能性もあると回答した割合）



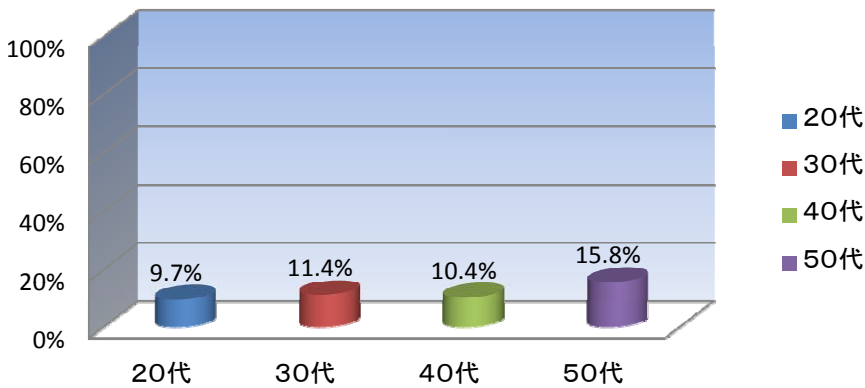
Q18 職員が鞆や携帯を管制運用室に持ち込むことについてどう思いますか？（安全上問題がある、安全上の問題のある場合もあると回答した割合）



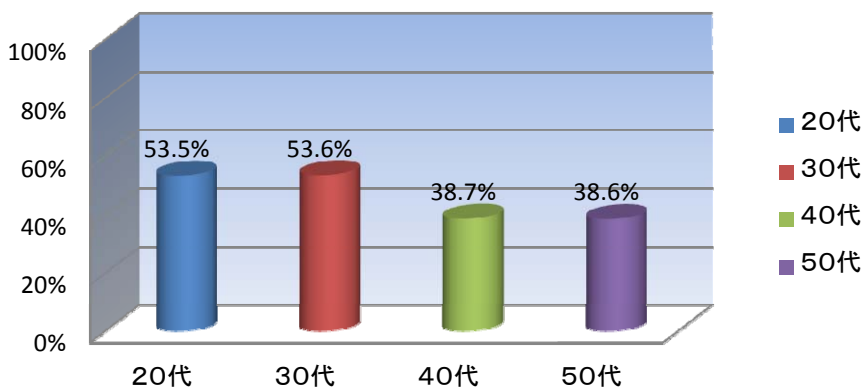
Q19 管制官の業務に対する社会的な評価について、どのように  
思いますか？（一部正当に評価されていない、正当に評価されて  
いないと回答した割合）



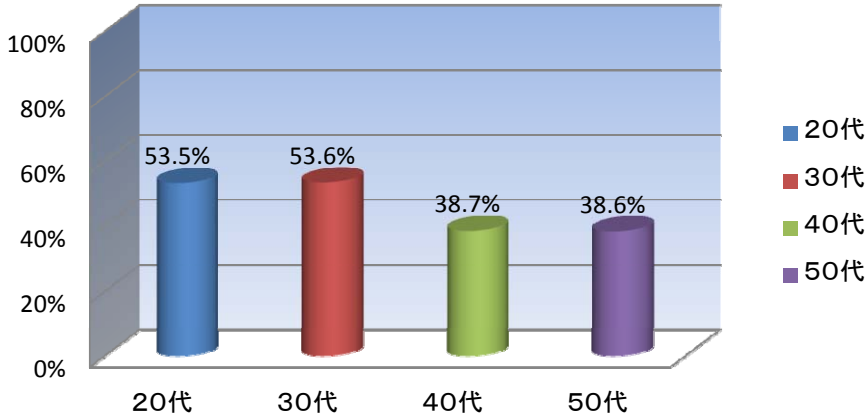
Q20 現在の業務についてやりがいを感じますか？（あまり感じな  
い、全く感じないと回答した割合）



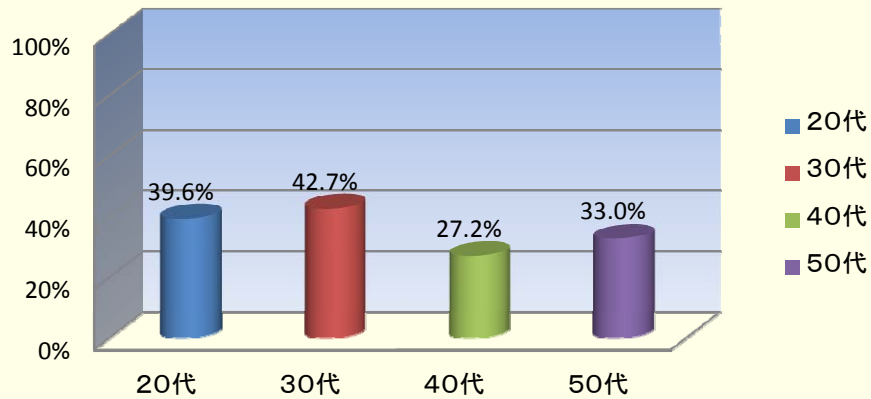
Q21 管制官の世界は外部との交流が少ないため、世間一般の  
意識とズレがあると思いますか？（その通りだと思う、一部その通  
りだと思うと回答した割合）



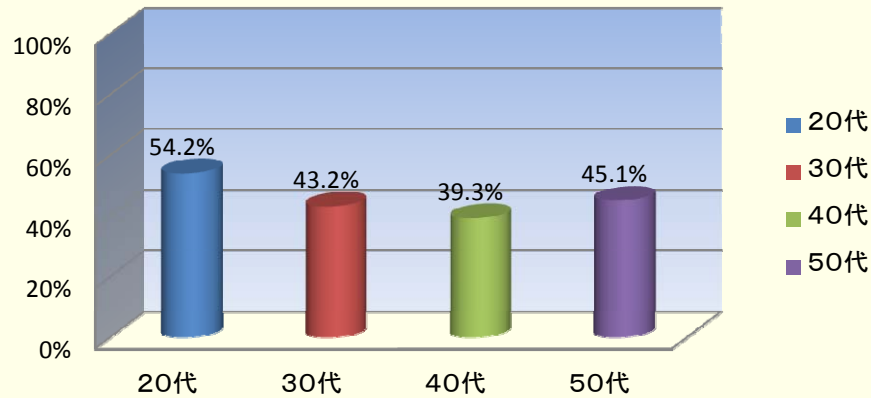
Q22 仕事と私生活の区分について曖昧だと感じる部分がありますか？（感じる、一部感じると回答した割合）



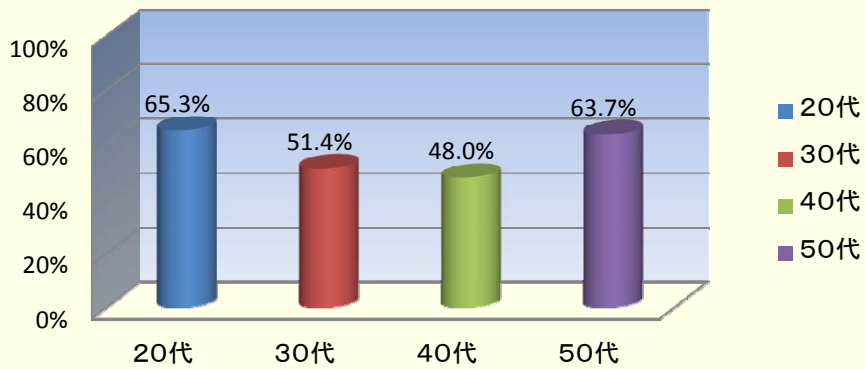
Q24 組織としての規律が緩んでいると感じることはありますか？（大いに感じる、時々感じると回答した割合）



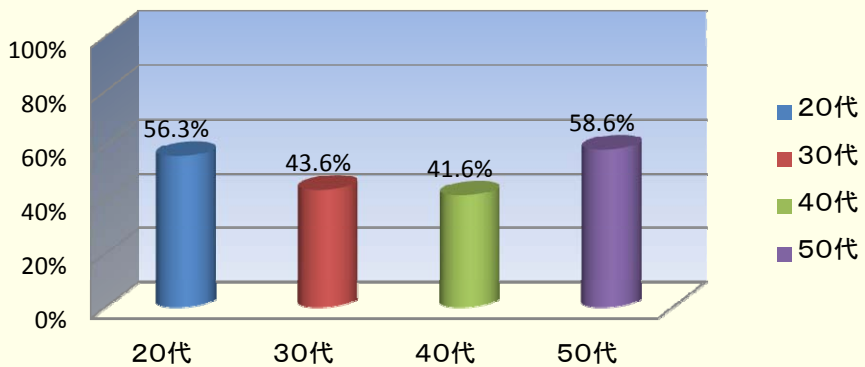
Q25 管理職は規程類を率先垂範して模範となっていると感じますか？（大いに感じる、時々感じると回答した割合）



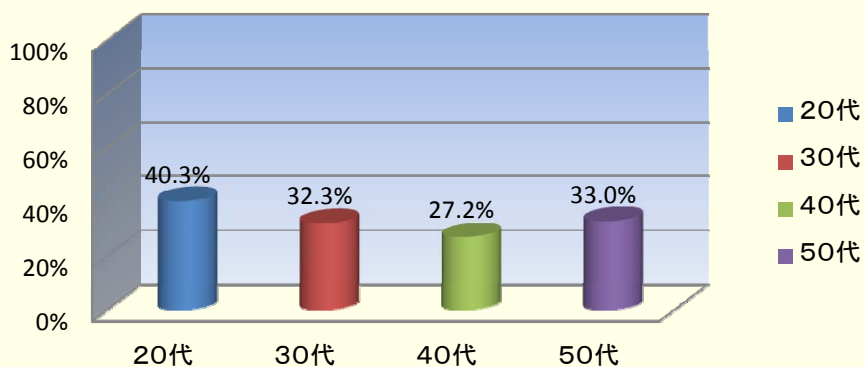
Q26 コンプライアンスについてきちんと理解し実践できていると思いますか？（理解し実践できている、ある程度理解し実践できていると回答した割合）



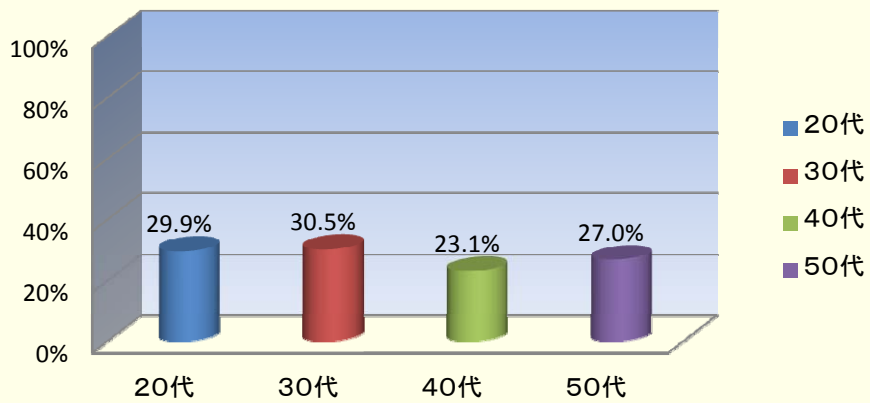
Q27 あなたは自分の部署のコンプライアンスや公務員倫理についての取り組みが十分だと思いますか？（十分取り組んでいる、概ね取り組んでいると回答した割合）



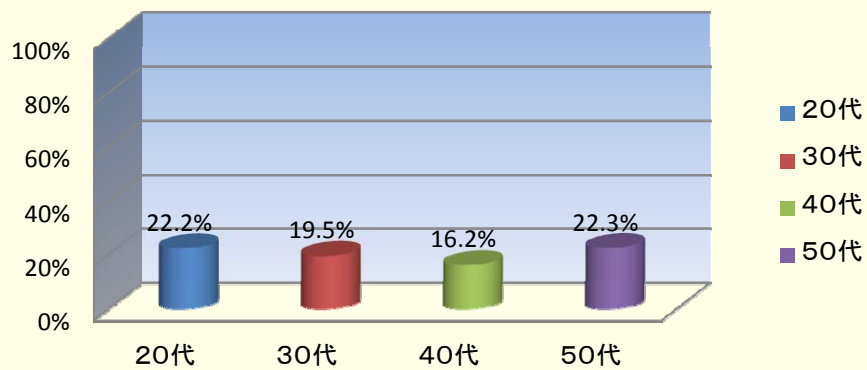
Q28 あなたの職場では自己の良識に沿って行動することによりジレンマに陥ることはありますか？（ある、ある程度あると回答した割合）



Q29 あなたが現在所属している管制部について、組織としての一体感はあると思いますか？(あまりない、ないと回答した割合)



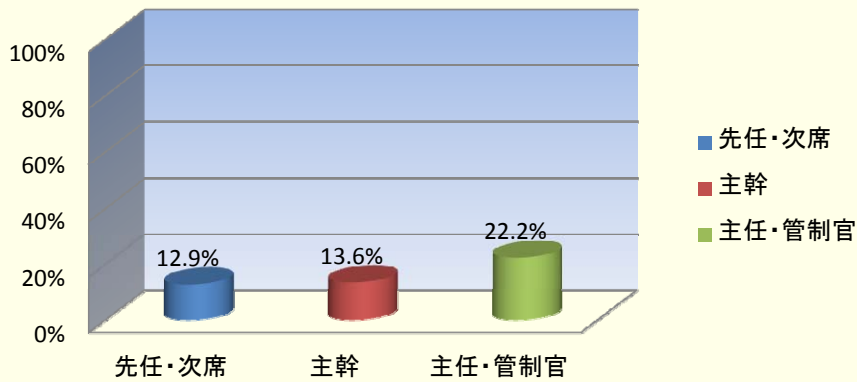
Q30 自分の職場は上司に対して言いたいことが言える風通しの良い職場だと思いますか？(あまり思わない、全く思わないと回答した割合)



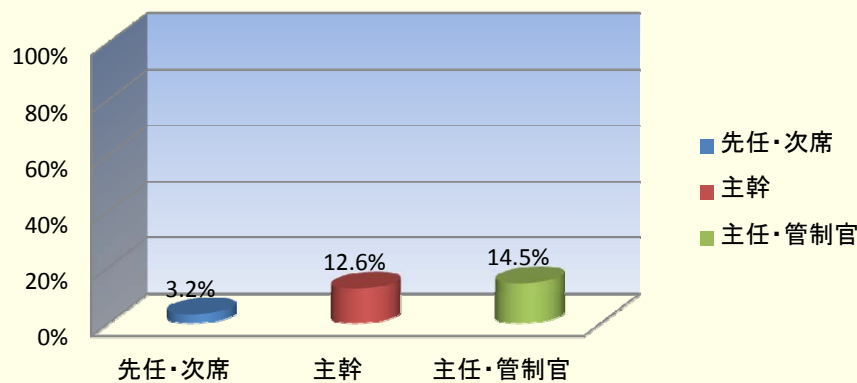


## 「役職別」分析

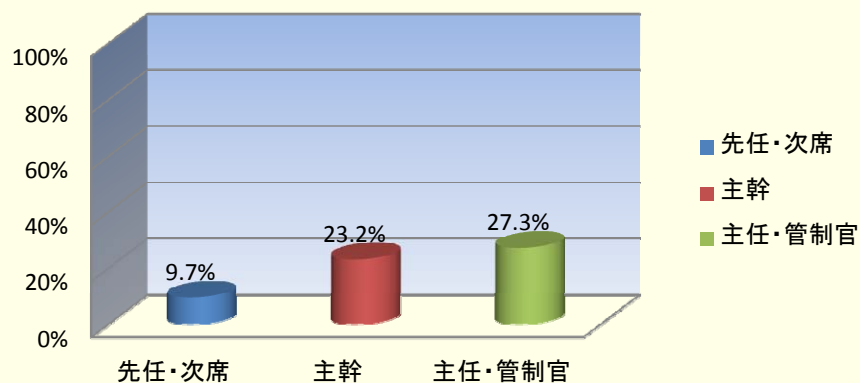
Q1 管制業務に関する規定類等の改正について、各職員まで通知され実践されていますか？（通知されているが一部実践されていない、通知されていないことがあると回答した割合）



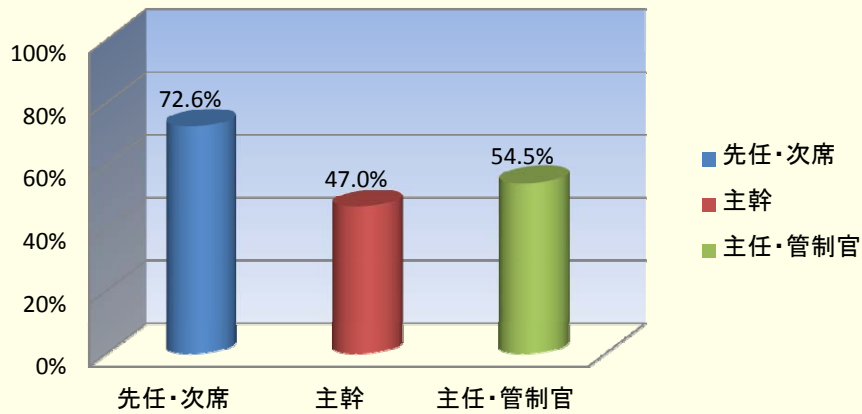
Q2 管制業務における管制官以外の職種（管制技術官等）との連携は十分に行われていますか？（連携不足が見られることがある、連携が不十分であると回答した割合）



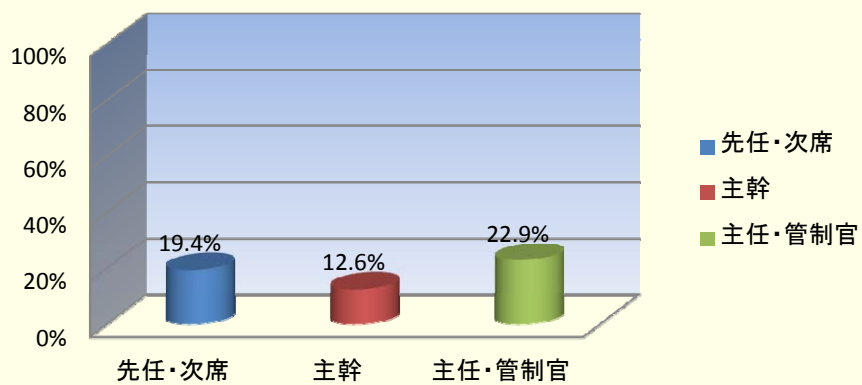
Q3 組織内において責任と権限が明確になっていると思いますか？（あまり明確になっていない、全く明確になっていないと回答した割合）



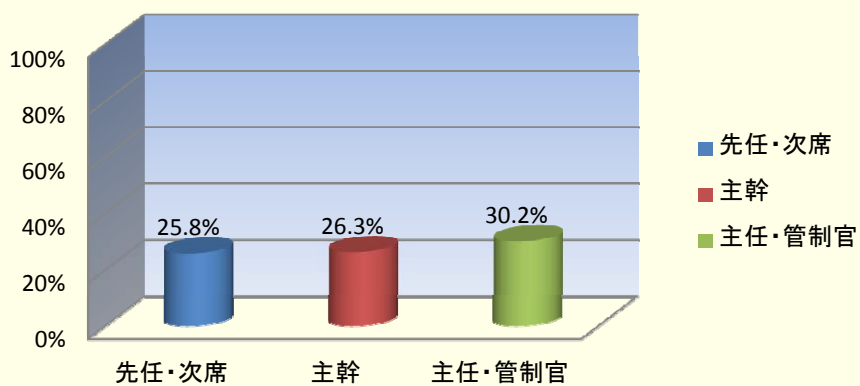
Q4 あなたは管制官の仕事に誇りを持っていますか？(持っている  
と回答した割合)



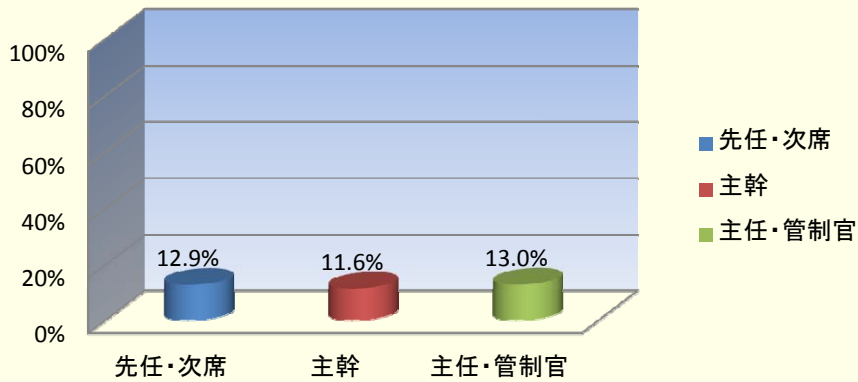
Q5 管制業務上、自分の安全意識や緊張感が希薄になっていると  
感じることはありますか？(しばしばある、時々あると回答した割  
合)



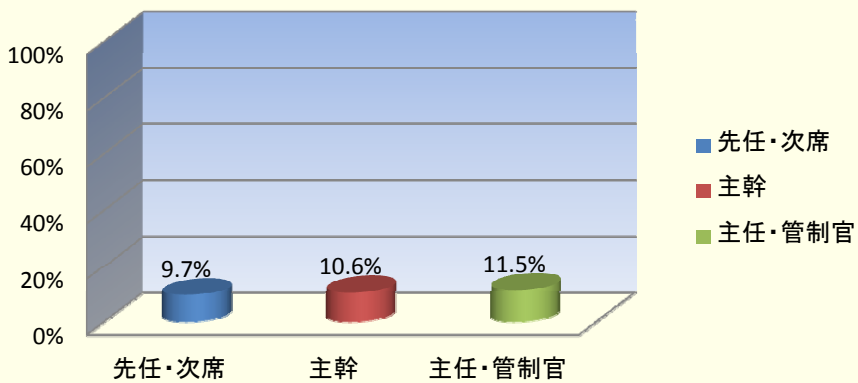
Q6 管制業務上、他職員の安全意識や緊張感が希薄になっていると  
感じることはありますか？(しばしばある、時々あると回答した割  
合)



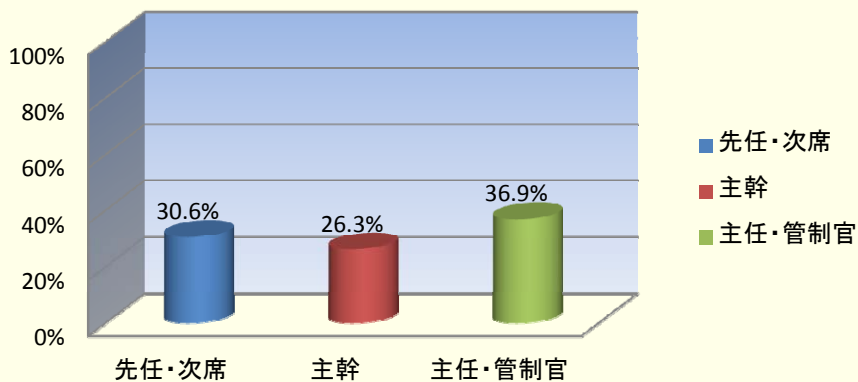
Q7 見学受入要領等、職場における規程類は実態に即していると思いますか？（あまり即していない、全く即していないと回答した割合）



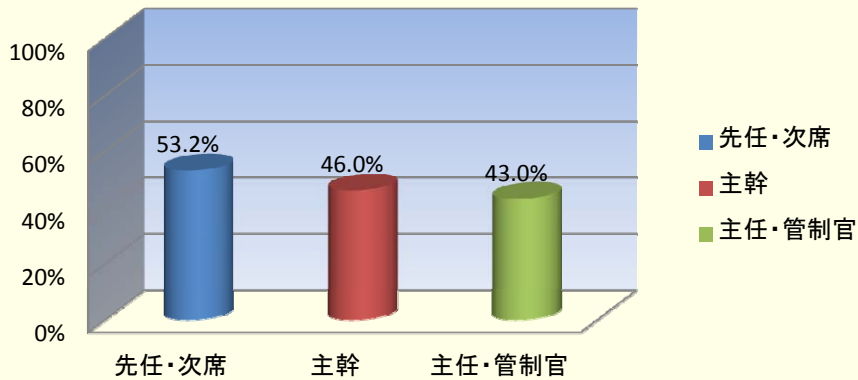
Q8 管制業務以外の事務についても安全意識や緊張感を保持すべき対象であると認識していますか？（あまり認識していない、認識していないと回答した割合）



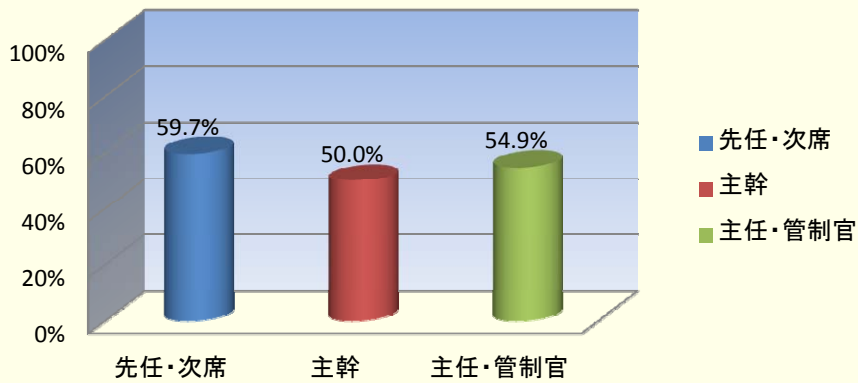
Q9 管制業務以外の通知類や部内ルールについて各職員まで通知され実践されていますか？（通知されているが一部実施されていない、通知されていないことがあると回答した割合）



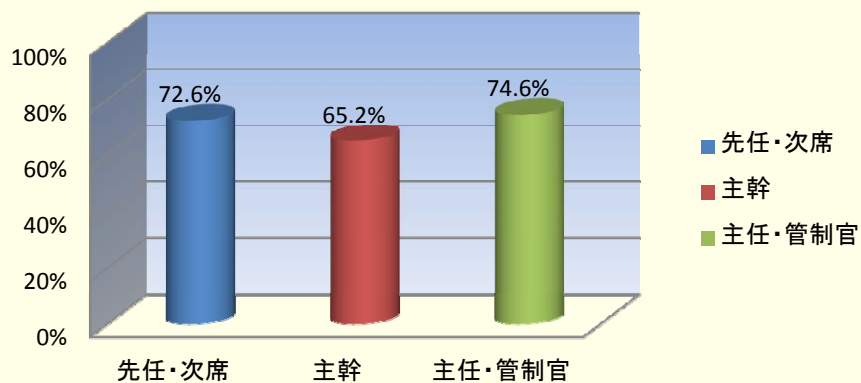
Q10 管制運用室へ見学者が入ることについてどう思いますか？  
(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



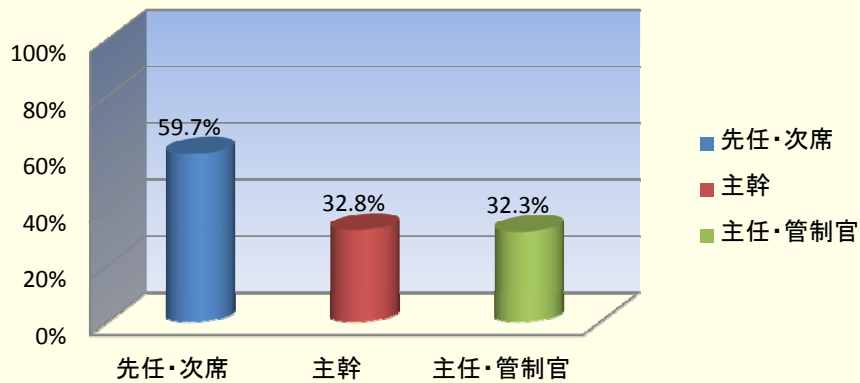
Q11 見学者が鞆や携帯を管制運用室へ持ち込むことについてどう  
思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると  
回答した割合)



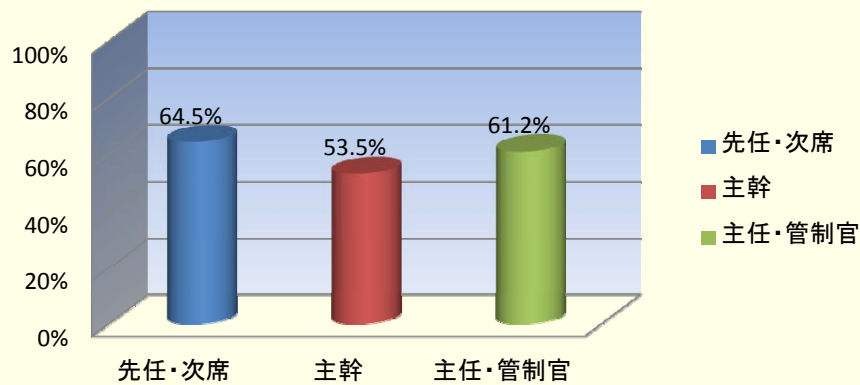
Q12 身元確認が厳格に行われない場合があることについてどう思  
いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回  
答した割合)



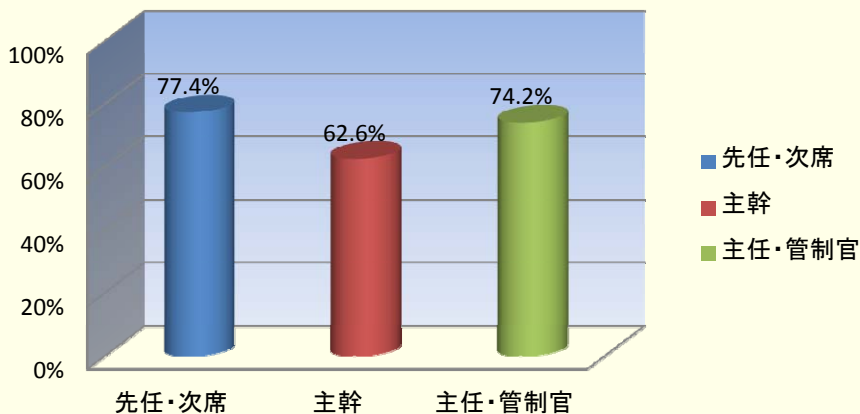
Q13 見学者に交信をモニターさせることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



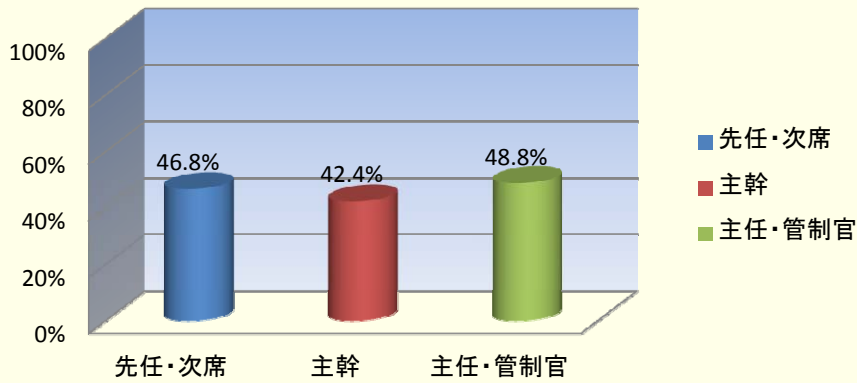
Q14 見学者にハンドセット等管制機器を触らせることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



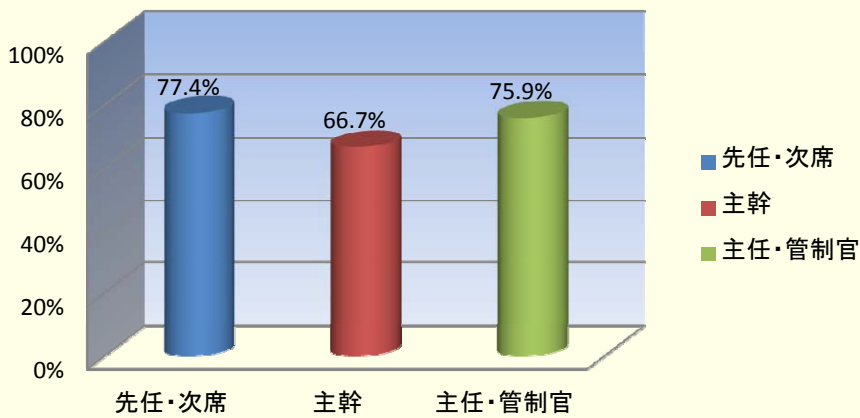
Q15 見学の必要性についてどう思いますか？(必要性が極めて高い、一定の必要性があると回答した割合)



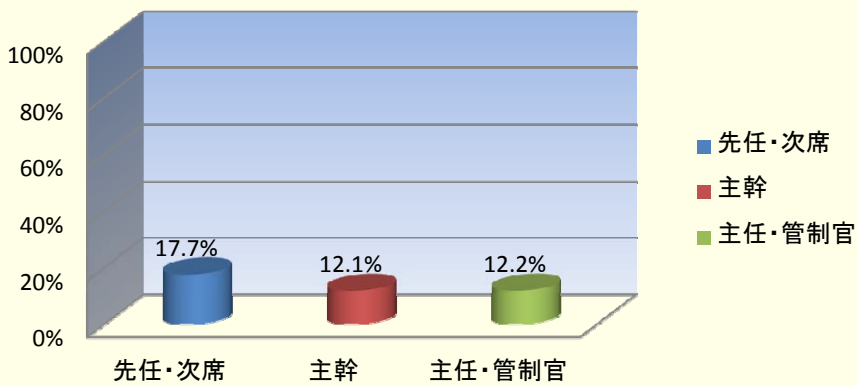
Q16 親類・知人を見学者として管制運用室に立ち入らせることの必要性についてどう思いますか？（必要性が極めて高い、一定の必要性があると回答した割合）



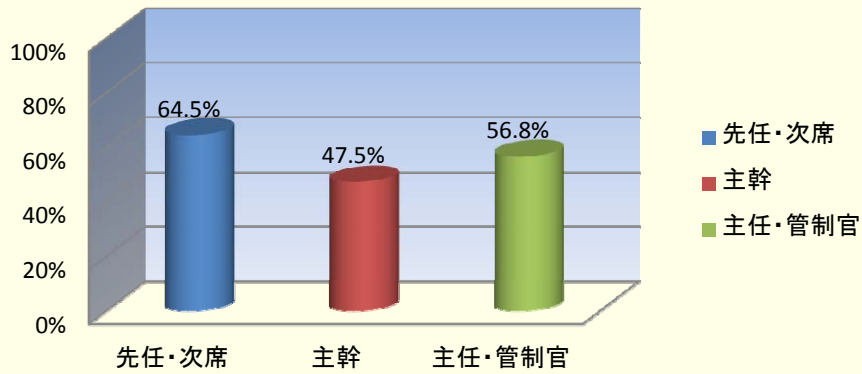
Q17 管制運用室はテロの対象となり得るとの指摘についてどう思いますか？（標的となり得る、テロの可能性もあると回答した割合）



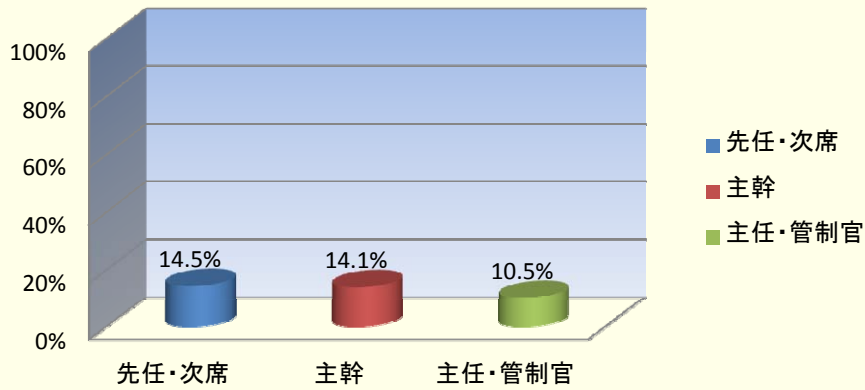
Q18 職員が鞆や携帯を管制運用室に持ち込むことについてどう思いますか？（安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合）



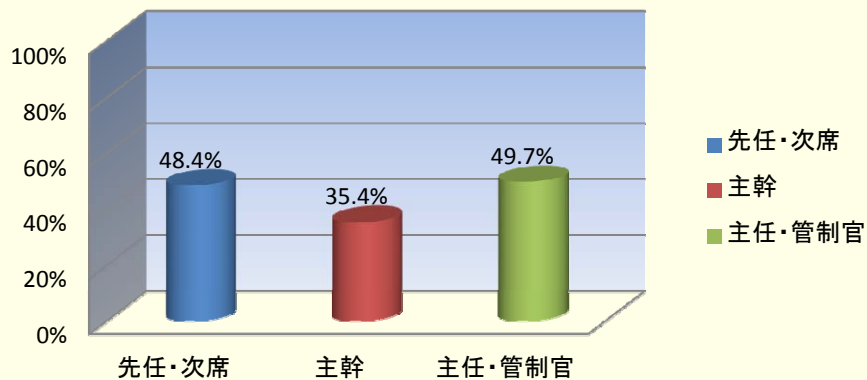
Q19 管制官の業務に対する社会的な評価について、どのように思いますか？（一部正當に評価されていない、正當に評価されていないと回答した割合）



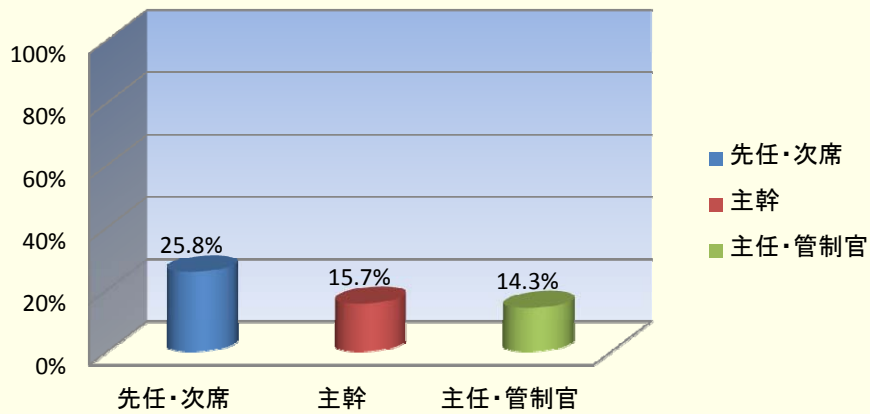
Q20 現在の業務についてやりがいを感じますか？（あまり感じない、全く感じないと回答した割合）



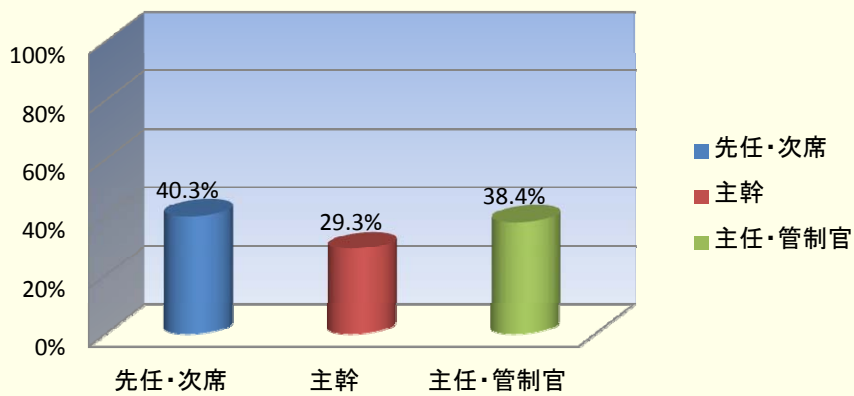
Q21 管制官の世界は外部との交流が少ないため、世間一般の常識とズレがあると思いますか？（その通りだと思う、一部その通りだと思うと回答した割合）



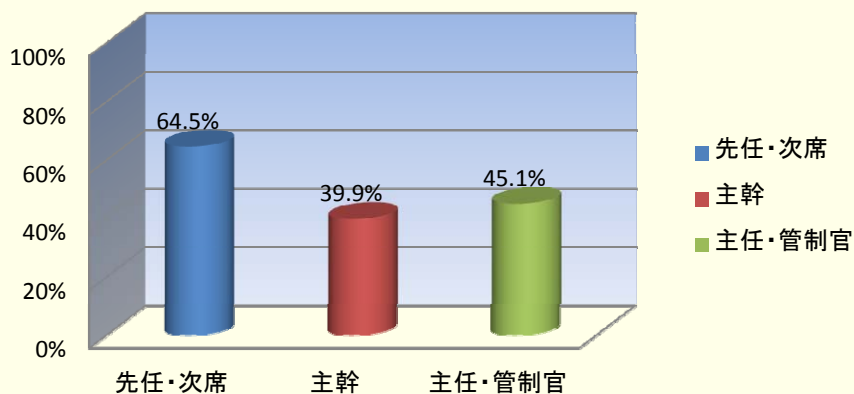
Q22 仕事と私生活の区分について曖昧と感じる部分がありますか？（感じる、一部感じると回答した割合）



Q24 組織としての規律が緩んでいると感じる事がありますか？（大いに感じる、時々感じると回答した割合）

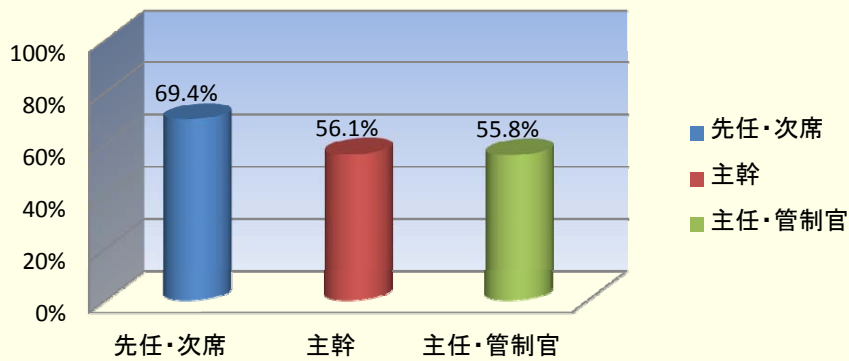


Q25 管理職は規程類を率先垂範して模範となっていると感じますか？（大いに感じる、時々感じると回答した割合）

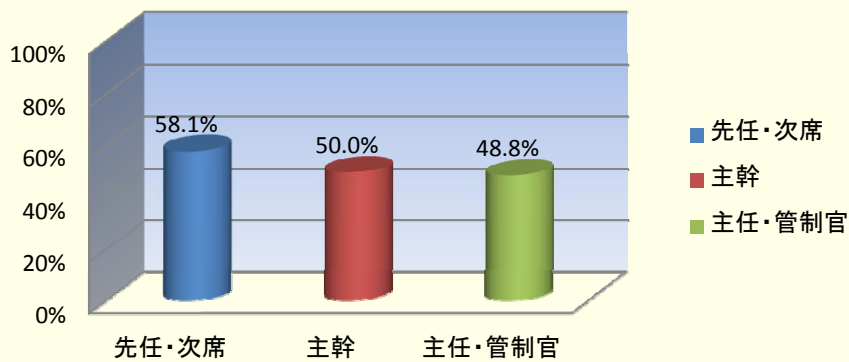




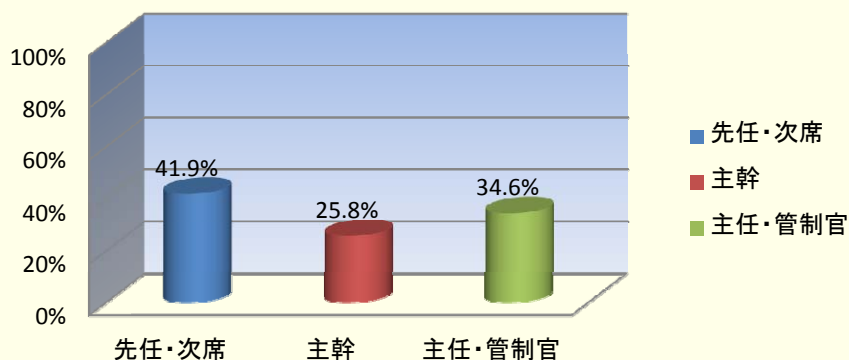
Q26 コンプライアンスについてきちんと理解し実践できていると思いますか？（理解し実践できている、ある程度理解し実践できていると回答した割合）



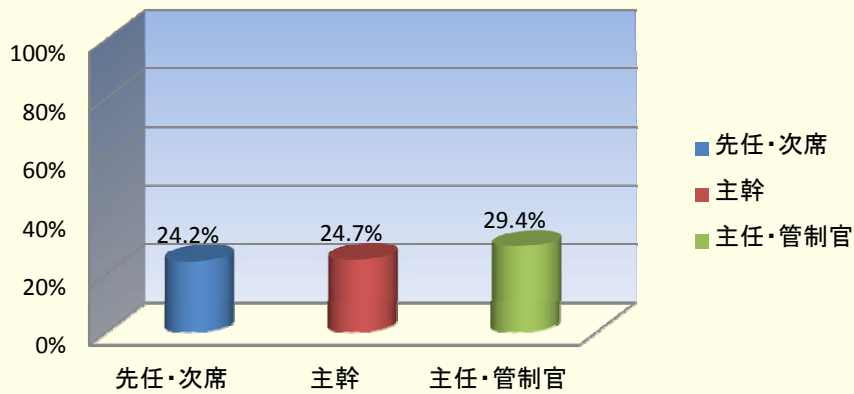
Q27 あなたは自分の部署のコンプライアンスや公務員倫理についての取り組みが十分だと思いますか？（十分取り組んでいる、概ね取り組んでいると回答した割合）



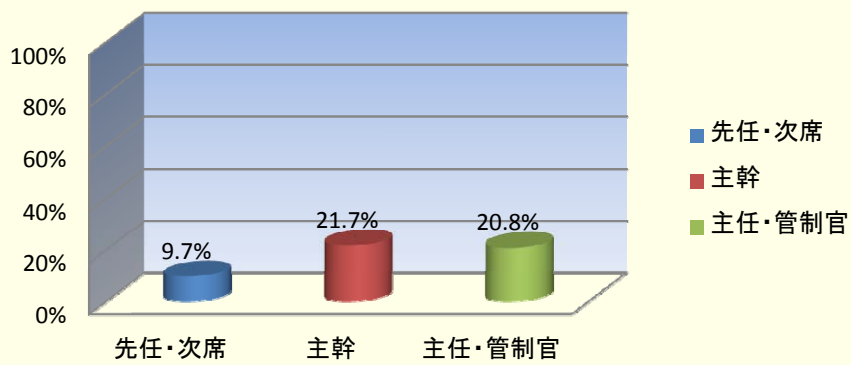
Q28 あなたの職場では自己の良識に沿って行動することによりジレンマに陥ることはありますか？（ある、ある程度あると回答した割合）



Q29 あなたが所属している管制部について組織としての一体感  
はあると思いますか？(あまりない、ないと回答した割合)

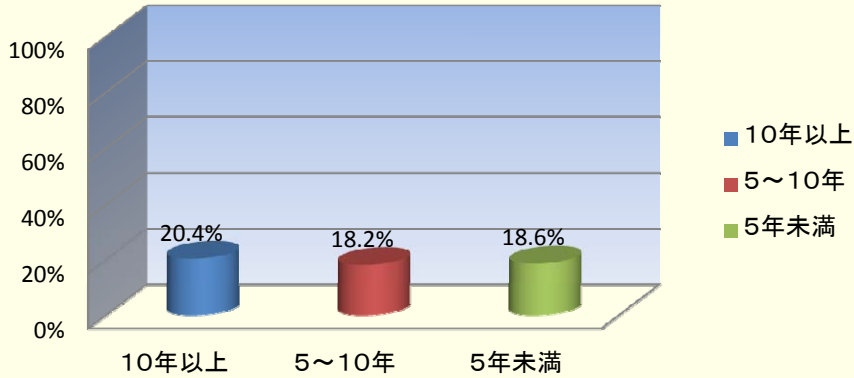


Q30 自分の職場は上司に対して言いたいことが言える風通しの  
良い職場だと思いますか？(あまり思わない、全く思わないと回答  
した割合)

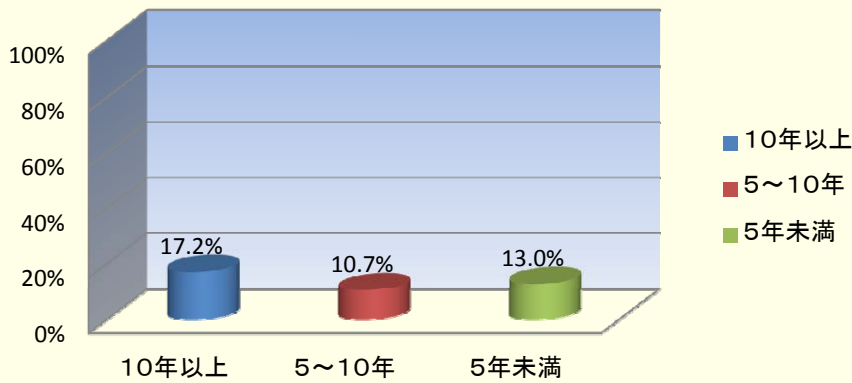


## 「勤続年数別(連続)」分析

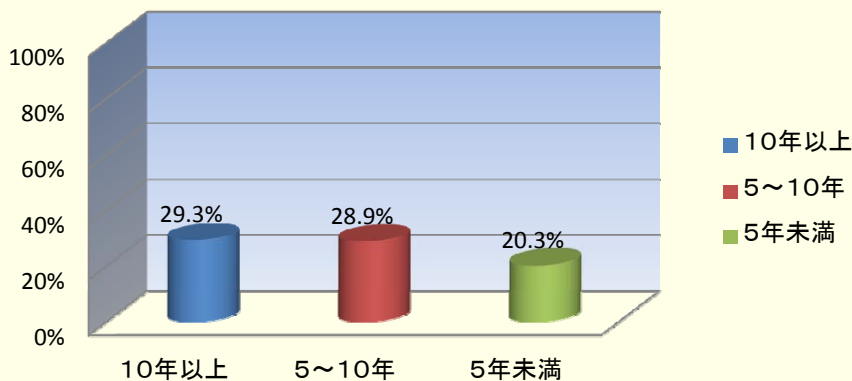
Q1 管制業務に関する規定類等の改正について、各職員まで通知され実践されていますか？(通知されているが一部実践されていない、通知されていないことがあると回答した割合)



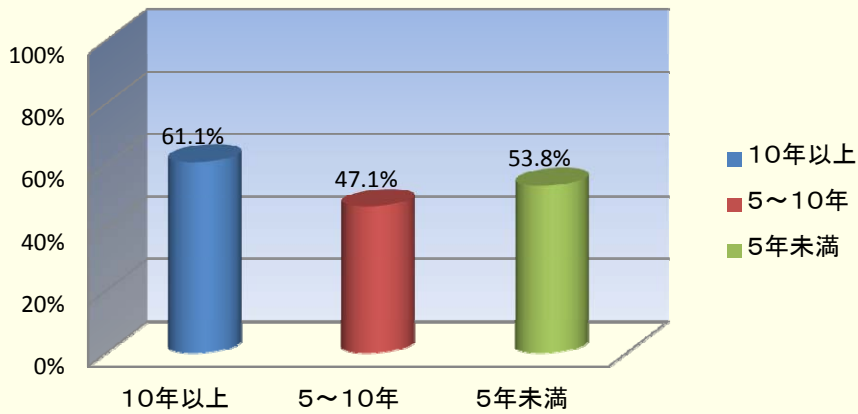
Q2 管制業務における管制官以外の職種(管制技術官等)との連携は十分に行われていますか？(連携不足が見られることがある、連携が不十分であると回答した割合)



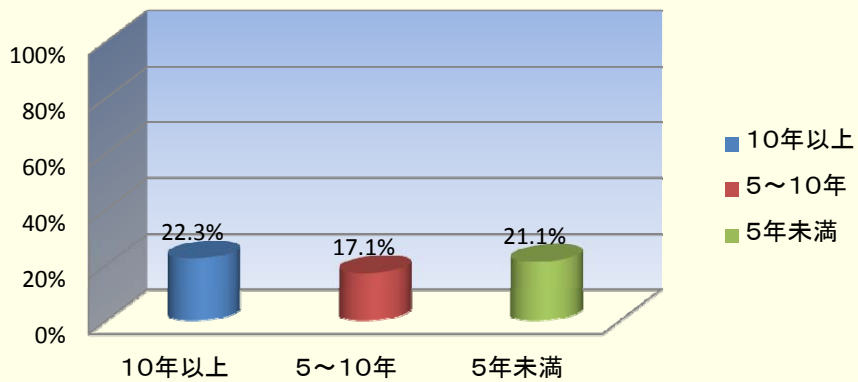
Q3 組織内において責任と権限が明確になっていると思いますか？(あまり明確になっていない、全く明確になっていないと回答した割合)



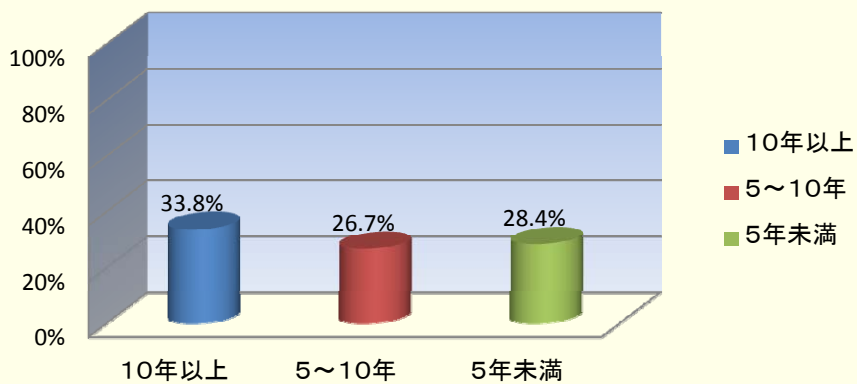
Q4 あなたは管制官の仕事に誇りを持っていますか？(持っている  
と回答した割合)



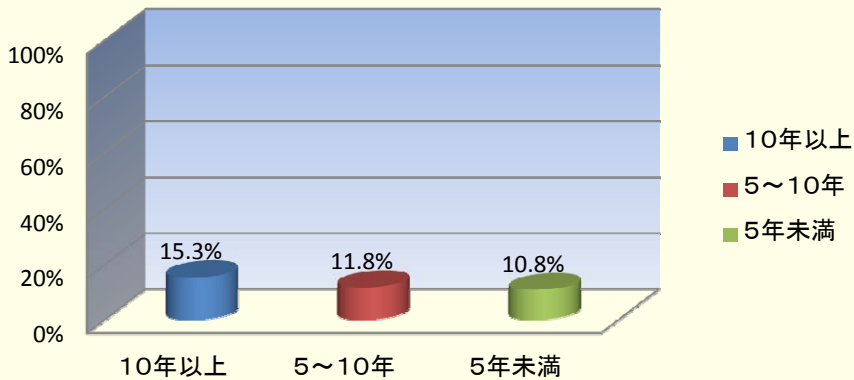
Q5 管制業務上、自分の安全意識や緊張感が希薄になっていると  
感じることはありますか？(しばしばある、時々あると回答した割  
合)



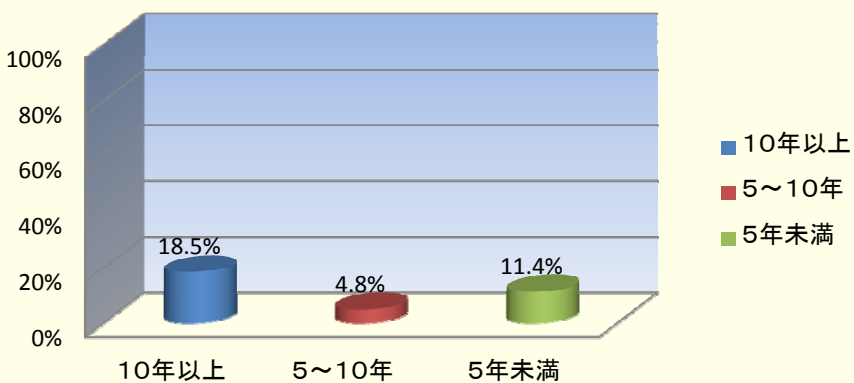
Q6 管制業務上、他職員の安全意識や緊張感が希薄になっていると  
感じることはありますか？(しばしばある、時々あると回答した割  
合)



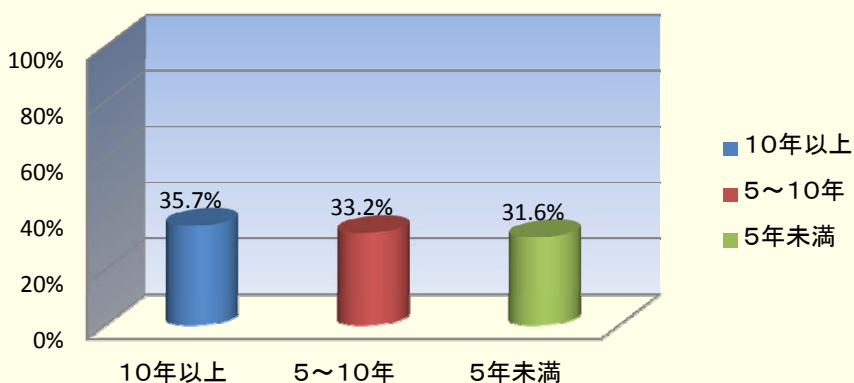
Q7 見学受入要領等、職場における規程類は実態に即していると思いますか？（あまり即していない、全く即していないと回答した割合）



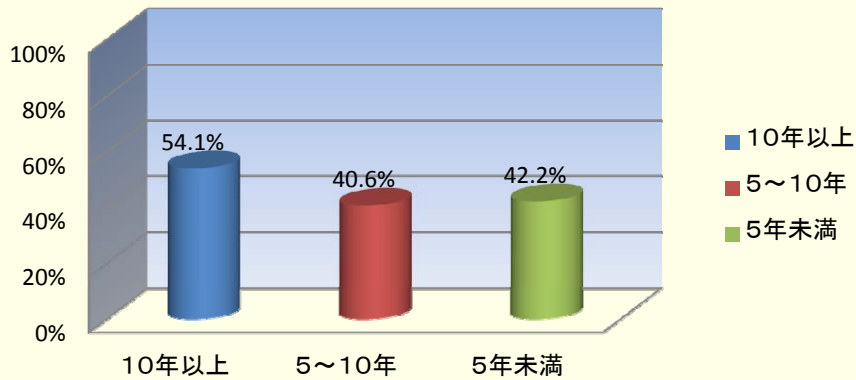
Q8 管制業務以外の事務についても安全意識や緊張感を保持すべき対象であると認識していますか？（あまり認識していない、認識していないと回答した割合）



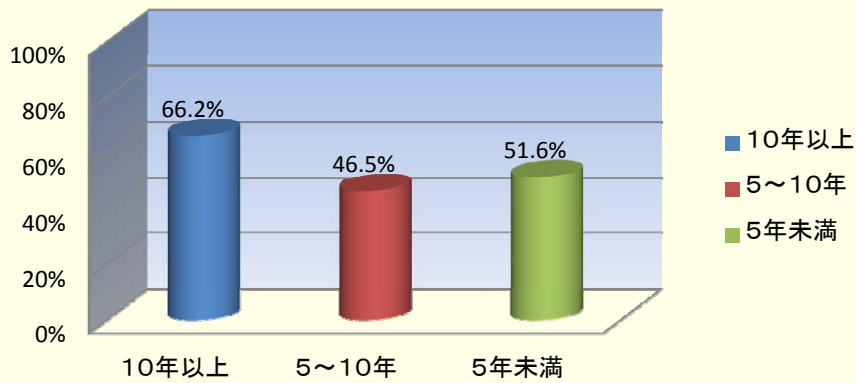
Q9 管制業務以外の通知類や部内ルールについて各職員まで通知され実践されていますか？（通知されているが一部実施されていない、通知されていないことがあると回答した割合）



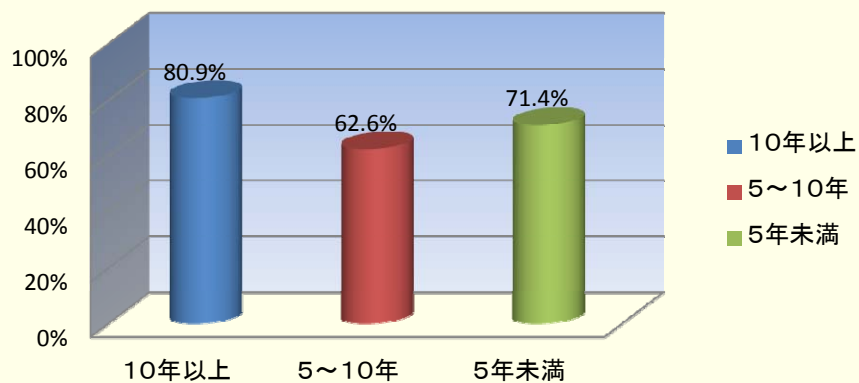
Q10 管制運用室へ見学者が入ることについてどう思いますか？  
(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



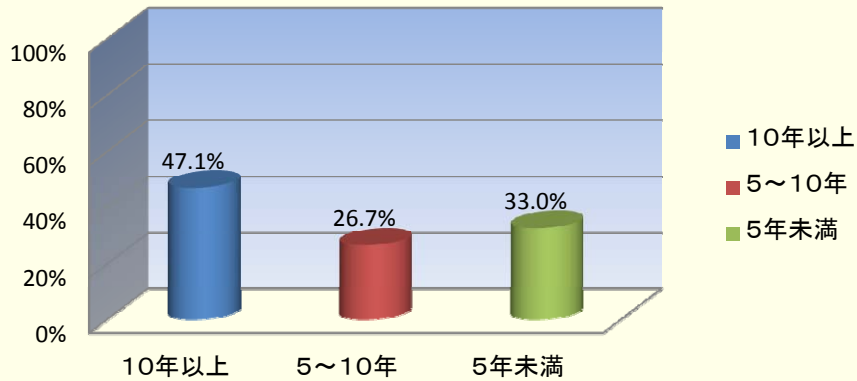
Q11 見学者が鞆や携帯を管制運用室へ持ち込むことについてどう  
思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると  
回答した割合)



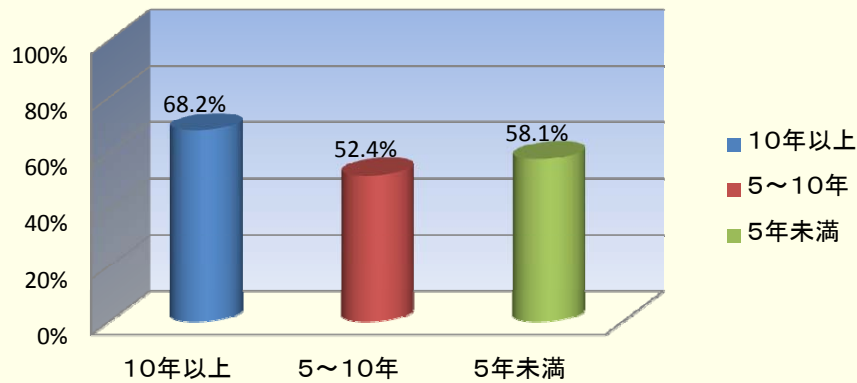
Q12 身元確認が厳格に行われなない場合があることについてどう思  
いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回  
答した割合)



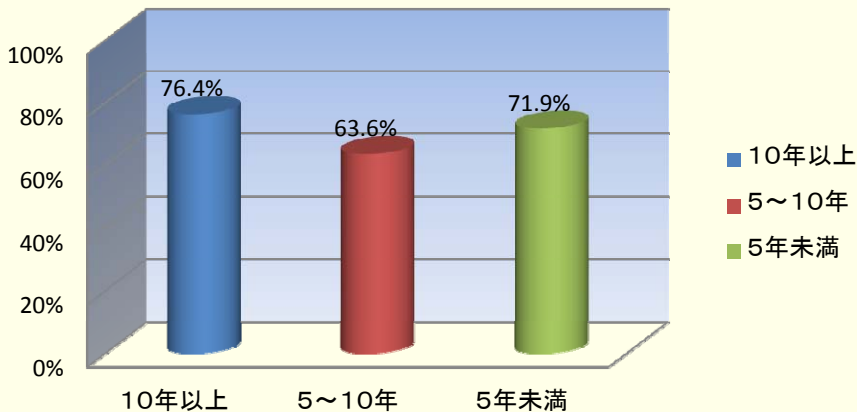
Q13 見学者に交信をモニターさせることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



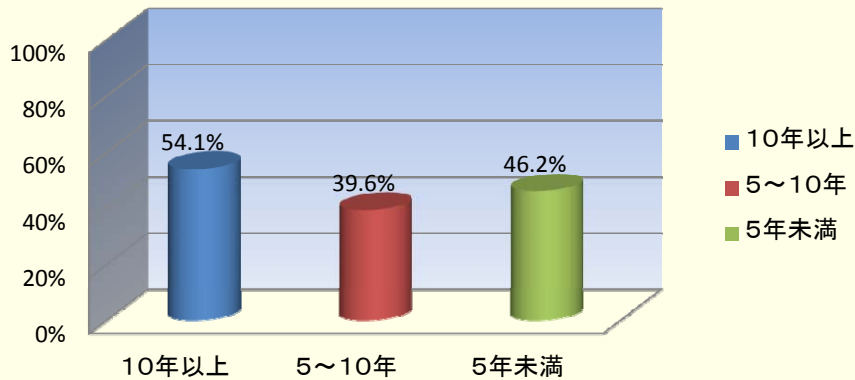
Q14 見学者にハンドセット等管制機器を触らせることについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)



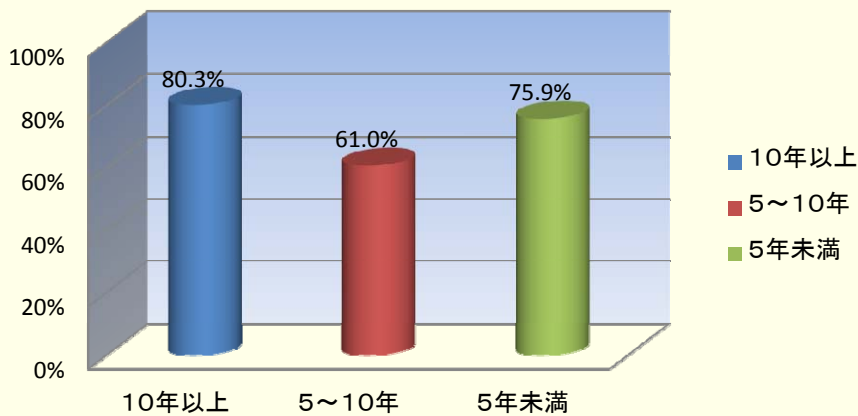
Q15 見学の必要性についてどう思いますか？(必要性が極めて高い、一定の必要性があると回答した割合)



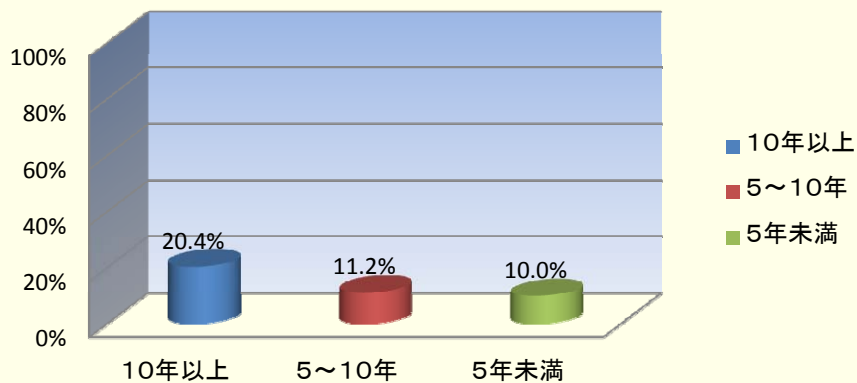
Q16 親類・知人を見学者として管制運用室に立ち入らせることの必要性についてどう思いますか？(必要性が極めて高い、一定の必要性があると回答した割合)



Q17 管制運用室はテロの対象となり得るとの指摘についてどう思いますか？(標的となり得る、テロの可能性もあると回答した割合)

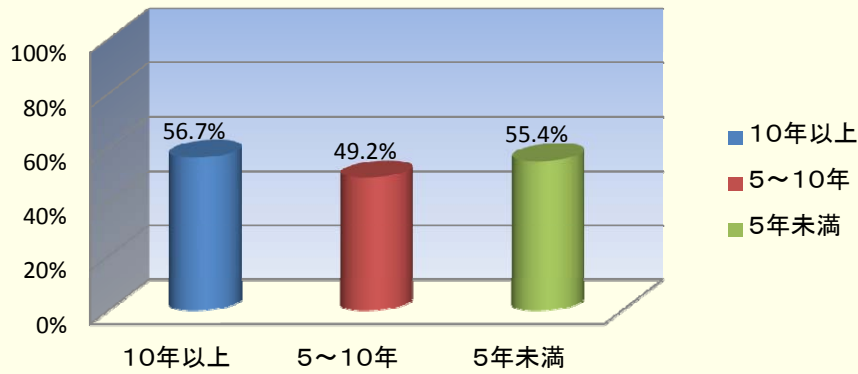


Q18 職員が靴や携帯を管制運用室に持ち込むことについてどう思いますか？(安全上問題がある、安全上問題のある場合もあると回答した割合)

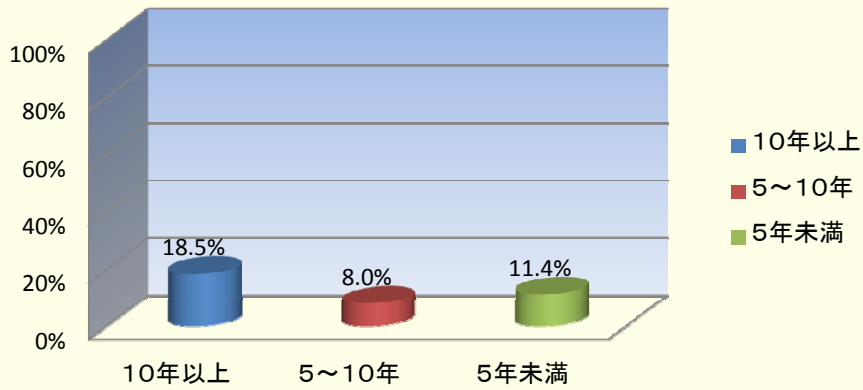




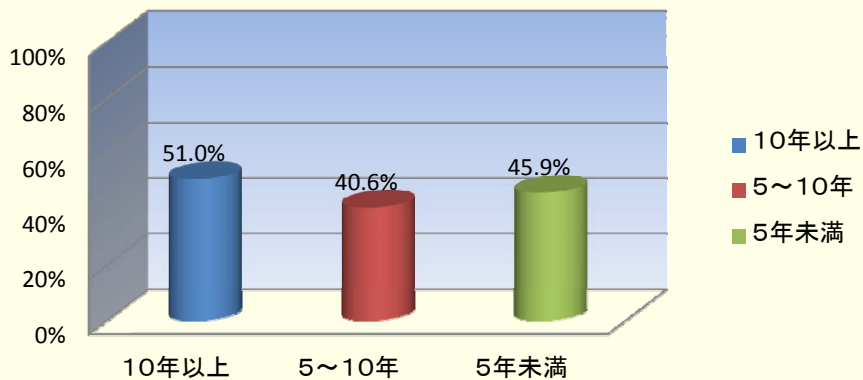
Q19 管制官の業務に対する社会的な評価について、どのように思いますか？（一部正当に評価されていない、正当に評価されていないと回答した割合）



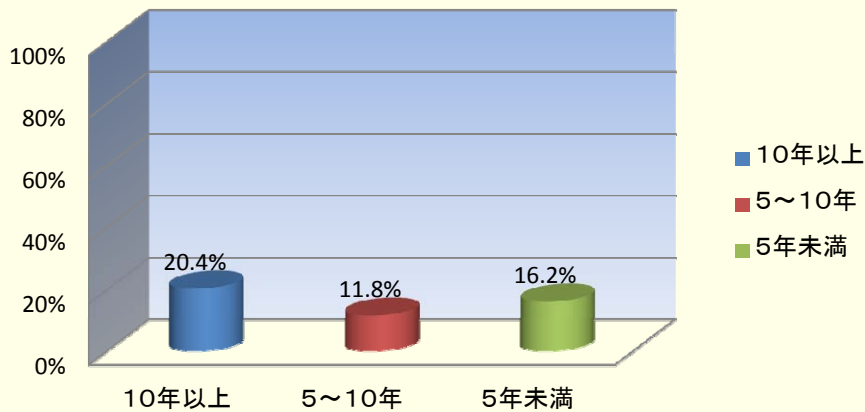
Q20 現在の業務についてやりがいを感じますか？（あまり感じない、全く感じないと回答した割合）



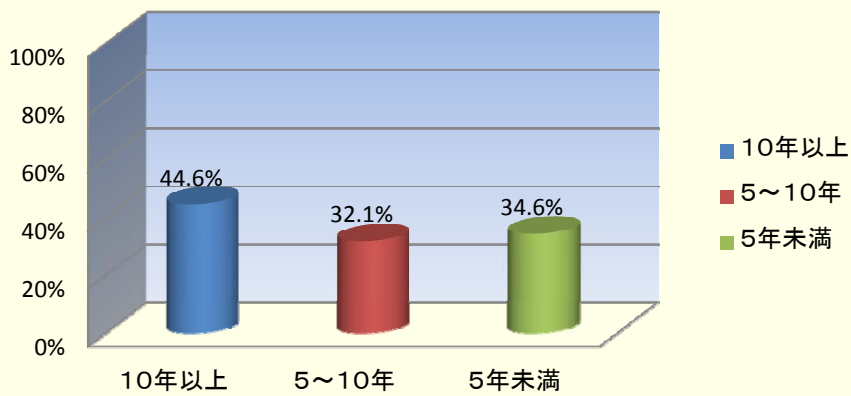
Q21 管制官の世界は外部との交流が少ないため、世間一般の常識とズレがあると思いますか？（その通りだと思う、一部その通りだと思うと回答した割合）



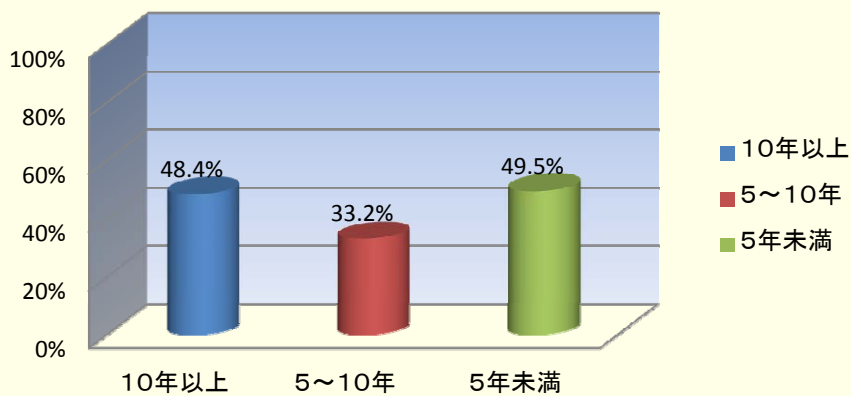
Q22 仕事と私生活の区分について曖昧と感じる部分がありますか？（感じる、一部感じるで回答した割合）



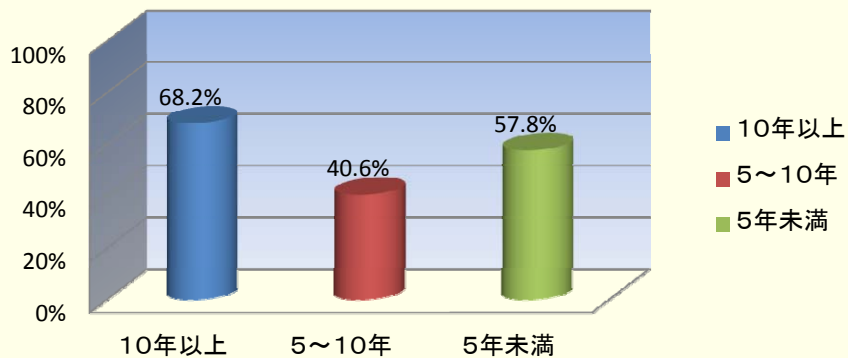
Q24 組織としての規律が緩んでいると感じる事がありますか？（大いに感じる、時々感じるで回答した割合）



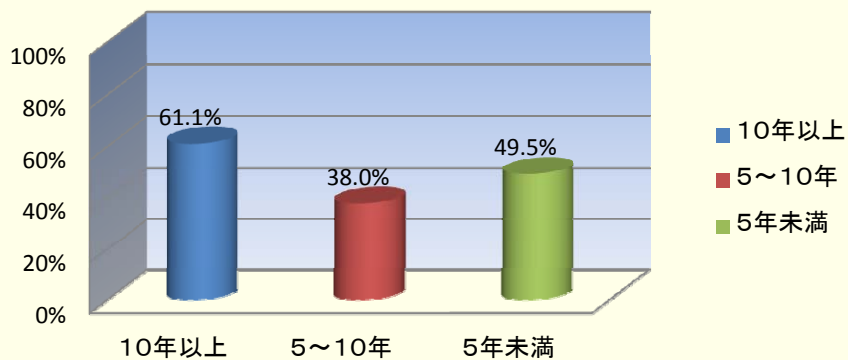
Q25 管理職は規程類を率先垂範して模範となっていると感じますか？（大いに感じる、時々感じるで回答した割合）



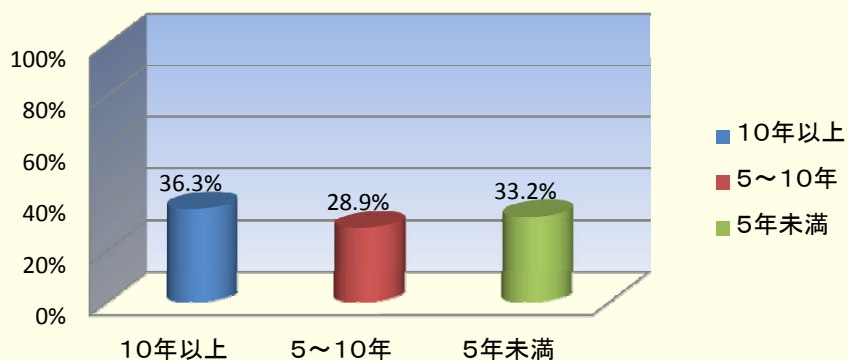
Q26 コンプライアンスについてきちんと理解し実践できていると思いますか？（理解し実践できている、ある程度理解し実践できていると回答した割合）



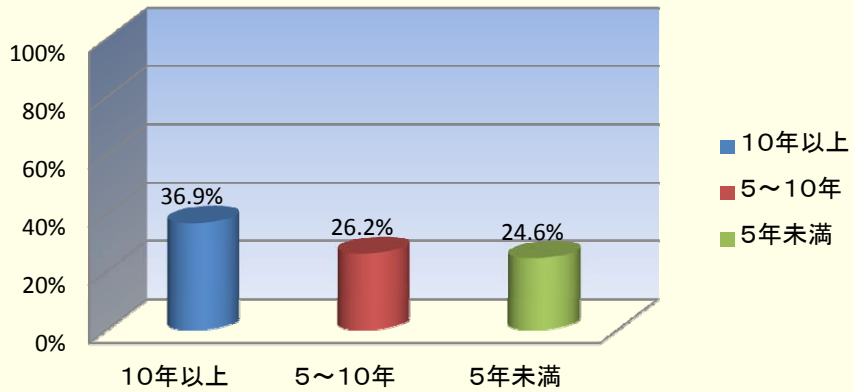
Q27 あなたは自分の部署のコンプライアンスや公務員倫理についての取り組みが十分だと思いますか？（十分取り組んでいる、概ね取り組んでいると回答した割合）



Q28 あなたの職場では自己の良識に沿って行動することによりジレンマに陥ることはありますか？（ある、ある程度あると回答した割合）



Q29 あなたが所属している管制部について組織としての一体感  
はあると思いますか？(あまりない、ないと回答した割合)



Q30 自分の職場は上司に対して言いたいことが言える風通しの  
良い職場だと思いますか？(あまり思わない、全く思わないと回答  
した割合)

